

走

厳然たる事實は

景氣には驚ろ

入養總裁歸京車中談

北滿の支那移民

本年日激減

失業公債養行

撃年齢低下その他と

こさが出來るであらうか。 概學

選ぶかは秘せられてゐる

いふものを流失の動

を構が学むさもいふべし

を行うによってある。

「他の内部には今間の地域道外にないる。」

「他の内部には今間の地域道外にないない。」

「他になるが、一面にから、一面の地域道外にないない。」

「他になる」

「中でさる」

「中になる」

「中にないる」

「中になる」

「中にないる」

「中にないる」

「中にないる」

「中にないる」

「中にないる」

「中にないる」

「中になる」

「中にないる」

「中になる」

「中にないる」

「中になる」

「中になる」

「中にないる」

「中になる」

「中になる」

「中になる」

「中にないる」

「中になる」

「中にないる」

「中にないる」

「中になる」

「中になる」

「中になる」

「中にないる」

「中になる」

「中にないる」

「中にないる」

「中にないる」

「中にないる」

「中にないる」

「中にないる」

「中になる」

「中になる」

「中にないる」

「中になる」

「中になる」

「中になる」

「中になる」

「中

が、野歌の起く性来子様院院施工事の 東殿、市後所、民政器が高い事に 中日午前十一時より歌語を見てこれに完成が整けてぬたが去る七月第一期工事の 連埠職事務所に数を見てこれで完成が整け 一日午前十一時より歌語を見てこれで完成が整け 一日午前十一時より歌語を見ていた大 連埠職事務所に数を開鍵にれた大 を表する事でなり を表する事であった。 を表する事でなり を表する事である。 を表する事である。 を表する事である。 を表する事である。 を表する事である。 を表する事である。 を表する事である。 を表する事である。 を表する。 をまる。 を表する。 をまる。 を表する。 をまる。 をまる。

髓御櫻 味味味 干鹽味噌 大連市信濃町 白白白赤赤赤

百夕 百百万多多 金十四錢 金拾八公

大路には大河の

永井婦人醫院

産婦 婦人の病は婦人の手で

何ヲ於テモ是レ丈ケ 非御覧下

白イ…… 一册谨,

貮拾銭

支那側 關係各國 の獨斷的態度 3



# で發揮

取も難關は依然ごして貴族院 政府與黨の對議會策

張大倉崎の人々 あことになってある 「大倉崎の人々 「あた」 「大名の人々 「なん。 「たるの人々 「あた」 「たるの人々 「なん。 「たるの人々 「なん。 「たるの人々 「なん。 「たるの人々 「なん。 「たるの人々 「なん。 「なん。

| 東京一日登電通』、日轄午前十 | 中国 | 日報年前の上左の短く

精佐世保顯守府司令長官 際軍中將 從四位數二等功五級 中村

**後四位動二等功五級** 標單山將

日本へ

しく去る二人

マリカの機能は、 リカの機能が機能に整能力を具備し マリカの機能が機能はそのまっ の脱脂力ある係能を脱れてが でするス氏はアメ

が肯かねば

韓復渠氏濟南で語る

位前の記者に山東省政府

する。これは地験縦北端洲地がの際。 特際止しやうささへ全側の理事會 特際止しやうささへ全側の理事會 特際止しやうささへ全側の理事會 特際止しやうささへ全側の理事會 をでルドウイ殿長が整勝政策のた 海軍中務 後四位動二等功五 後四位動二等功五 作軍中務 後四位動二等功五 作軍中務 後四位動二等功五 作事中務 後四位動二等功五 作事中務 後四位動二等功五 作事中務 後四位動二等功五 作事中務 後四位動二等功五

**入連市豫算查定** 大體全部を終る

政策本位で峰端を決せられたきもそれを乗り立窓解にして大によして大によし

島町五番地 醫院

米艦隊の組織

北京料理 大連連鎖街 电三二。 世

婦川内 人兒 科科科 度使へばきつと御氣に召す

張家灣扶餘間の 鐵道敷設を計畫 解氷ご同時に着工か

テ出ル万人向き娯楽雑誌

# 吸内に於て支那芝居を見物中 犯人は矢張り元同家のボー

一元小澤家のボーイで山東登州府招遠縣生れ社書春(ニュ)と確認され、 一元小澤家のボーイで山東登州府招遠縣生れ社書春(ニュ)と確認され、 一元小澤家のボーイで山東登州府招遠縣生れ社書春(ニュ)と確認され、 一元小澤家のボーイで山東登州府招遠縣生れ社書春(ニュ)と確認され、 一元小澤家のボーイで山東登州府招遠縣生れ社書春(ニュ)と確認され、 一元小澤家のボーイで山東登州府招遠縣生れ社書春(ニュ)と確認され、

犯人宛の貸金請求書狀で 高飛び先の目星を 杜書春(二一)を下手人と確認する迄

を使うたい、これを なにしたが、これを なにこと、本月中部小澤家を のに、一部でのだ。これよりさき迎味被證 をに置べるたが、これを なにこれるのを がいましたが、これを なにこれるのを がいまなどを なにこれるのを がいまなどを なにしたが、これを なたが、これを なたが、 な なであること、本月中旬小澤宗かってのたこと、本月中旬小澤宗か

を受り、指標之居に聊中の公安展 を要見、指標之居に聊中の公安展 上に犯人社が目標してゐること 上に犯人社が目標してゐること 兇行後南山で 寒夜を明か 翌朝露天市場で身ごしら

一般で芝居小屋に乗り込み同道した 一般に製装させて観覧客かいちく 「他性した結果、観覧館の前から三

家に物数に励ひ込み、 犯人の素性

モウ滑出す

まだり

~ 凍り切らぬ

鏡ケ池のリンクで

社書巻は昨年九月初めて楽進した さいふ願れ込みで、満羅常野組合 さいふ願れ込みで、満羅常野組合 能が寒だのボーイに歴はれたが、 能が寒だのボーイに歴はれたが、 を がおだ十七歳の時市内若狭町裏 では、アスファルトの上にも搬水が乗って徹を凍結の冬に入 五度四分、アスファルトの上にも搬水が乗って徹を凍結の冬に入 一さ今都鑑さくつさ下って三十日の懸に満た楽さ

身柄は十七日微影で

の立題りだに

てるる、だが彼等は你然で細で、脳の形上をスーツスーツ…… がかが、昨日に比べて暖かくなった今朝水はざくく、解けかけすよう」を催りながらいふ、はつさ足下を見れて脚の離る漁鍋はすよう」をできまれて暖かくなった今朝水はざくく、解けかける。

帳簿類

事務

用品

田洋行

抽答賞問

は十二月二十日 内田洋行は満電自動車部から何軒目ですか?

の姪と觸れ込む

これまで小崗子署での陳述

典ツ赤ないつはり

この程脈とを地より観々と彼女の 前身を致く腕を返来が無層してる る、それによるこ現在まで同盟に て取職です現在までの行脈につい

軍

〇高尚優美、 高級住宅、店舗、神和 の高尚優美、

THE DIRECTOR 懸賞問題

屋根材料の一 卸現 資金 大進步!!

特許銅瓦 美、耐久無限、 一章、 洋瓦 章、 着皮 草 各種

田中製煉所代理店の程御願申上ます。帰閣及特種建築物等の御 施工簡易

日下齒科醫院

辨天堂主風呂崎

**又保**里寫 英製版所 にんしんあんま

ジョあんぶく

山本洋行

が、この際始の時期は最美限航空。 の寒ごみ送には我同し間影の其性 化な必要さする映像では、 では、この際から特職すれば歌年 が、この際かの時期は最美限航空。

うらる丸

入港遅る

ごうやら福岡

上海線だけは

小多类五

一列車遅れて赴蓋

3

慰められます。

快報に安堵の色を面に浮べ

小澤氏の妻女語る

留守居の女房を絞め、騒がれて

一物も得す逃げ出

ころ、一時間前に干がを訪れたころ。

内に急行

附いた血潮

最早や動かせない意識に

犯行の一切を自白

きが戦闘するに至ったので、独

大学学院の実好を示(ma)を検診せんさして大概を を対し、一人物学品の実好を示(ma)を検診せんさして大概を を対し、一人物学品の実好を示(ma)を検診せんさして大概を を対し、一人物学品の実好を示(ma)を検診せんさして大概を を対し、一人物学品の実好を示(ma)を検診せんさして大概を を対し、一人物学品の実好を示(ma)を検診せんさして大概を を対し、一人物学品の実好を示(ma)を検診せんさして大概を を対し、一人物学品の実好を示(ma)を検診せんさして大概を を対し、一人物学品の実好を示(ma)を検診することを を対して、一般の表に、 を対して、一般の表に、 を対して、 をがして、 をがして

を訪べて表には「息中」であり取ります。 は総しき二つの遺跡を装置してあり取ります。 が、繋前に塩坐してあたか際氏 大人ゆき子さんは重い動態のうち 大人のき子さんは重い動態のうち

ただけて行ったものですれ、一日にはいるのですれ、一日にとばしましたか、よく蓋平まで

一一越の者。と稱し 闖入して犯行

犯人就縛の快報に

ホット

一安心の小澤一家(上)

(下)捕はれた犯人杜書春二七歳の時

鳥打帽、短衣の支那人

伊豆

暮しが樂になる

震災の被害 二千二百五十萬圓 社會東帝來日連大 小平島近海を航行っ水門版式見の 名刺臺 設備の標識

石の加州の役屋敷

一日か院の難して「手前たちはその時になって、「一日かにのり難して「手前たちはそのないとなって、「一日のでは、

崎面座第

型 がへりにしてもだ。セリフはよく さいふ父親の意志が第三の伏総、 歌はいけないさ思ふ。仕合ひ、見続にゅく。 長髪さ 大鬼を鳴る。 はいけないさ思ふ。仕合ひ、見続にゅく。 長髪さ 大鬼を忙つて貼ける 大鬼が脱げるの かった なな数はみすぼらしくない。これ れて来ればさ 影節を はっかった けっしる くいふ父親の意志が第三の伏総、 歌はいけないさ思ふ。仕合ひ、見続にゅく。 といふ父親の意志が第三の伏総、 歌はいけないさ思ふ。仕合ひ、見続になるのか。 はっちいけないさ思ふ。仕合ひ、見続になるのか。 はいけないさ思ふ。仕合ひ、見続になるのが悪がなった。 はいけないさばらしてもだ。セリフはよく さいふ父親の意志が第三の伏総、 歌はいけないさばらしてもだ。セリフはよく さいふ父親の意志が第三の伏総、 歌はいけないさばらしてもだ。 でもう概かんばんの残壊家さやらの必要もなくなつかって、 無の魅られ

試演會劇語 一日黒、大の日は自、秦つぼいス り合せがよかった)母が深を出す は田暦せれてなられ。彼にキャア がには誰くでからず一時は難る

頓牛及至二噸フォード新トラツク

軽少の費用で長期の使用へ堪へ得る



入場料金十錢也運用

快一点

出せたパセン

子美惠雲八 子调 并松 (し算清を裏因音の切一 て超に理解の愛きし新

O 活

道

營省下

んそく 解松尾紅り 治療 麗仙 元四七八番

あ は 一川の御 思恵元金元 酒 二葉町四八四四

學店

RR 理化學用器 版會 版會 医量素器 製作 大連市恵比須町本十八

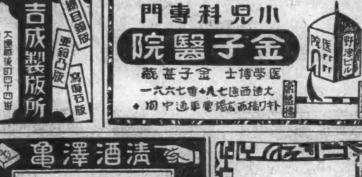
度が 量表 漢第

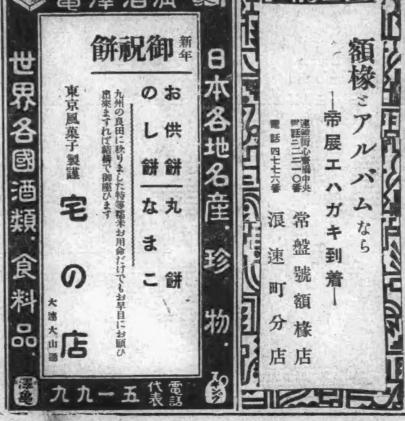
大作曲前田多官夫

き日の光図

(128)

**水原小兒科醫院** 





おいしい御飯が出來る

ガネマソコメトギ

「おきなの御飯 はどてもオイ はとてもオイ うまいはずだる とカネマンコ



三越・米店・世帯道具店・金物店・稚賞店=アリ

オープンでそして福木車強のフオードAA型新トラック

詳細は特約販賣店

約販賣店

大連モー

セールス商會

大連市山縣第一五四番地大連市山縣第一五四六・七六九六番

野者してゐる人より 所有してゐる人より 接率中に「友人よりの 技事中に「友人よりの

新トラツク 木棚のあるフ

御使用になる種類に就いてお好みの型が御機様下 そして質物のトラツクな

最寄のフォー

動車輸出 自 株

東十郎は不承ぶとやうに双ないと、瞬いでゐるかも知れれるかではの観い観線に外籍められ 「少とも早く歸ったがかいゝぜ、「少とも早く歸ったがかいゝぜ、」と、すってもり 人げれえ柳尾殿も、い・加 「へえ、有いお敷むなすつてお見んなせ うよ」 「へえ、有いの間 「満吉・」さ、殿で早く行けさは か組の値を持ち除ったがよから 無れたま、、 キロリン様す 質前(発養関ケ原)法命山水島旭 質前(発養関ケ原)法命山水島旭 E JQ'AK

郷大郎は、くるりさ向きた髪へ のである歌音の鯛へ数つて

痙

四日四日間限り 助之權形月 平新 木高 治文小川市 厭太 東阪 歲秀 城岩

ふ彼の味ある心の味ある心

門專科児小

ここが出來ます。各部分が集まつて一つのトラツクか出來上りくここが出來ます。各部分が集まつて一つのトラツクか出來上り目させるに足るものがあります。其一個條でも一章を成すほご書目させるに足るものがあります。 經濟輸送の 誇

フオード乗用車及び トラツクは品質及 情報に於て比類無き フォードの操作に適當の設備を持ち必ず貴下の御滿足を得るものはフォード特約販賣店のみ

てるることである。また帰送日敷で利力なる駄は総糸布一が観につきな物なる駄は総糸布一が観につき 株定運賃(年一才に付) 最名及銘柄 李 磯 鷹 四街 春 全生 紙 有 健 美 四 豊 三 六 人 漁 月 健 美 四 豊 三 六 人 漁 月 健 美 四 豊 三 六 をか二、三年するさ減り締め、 一年に回像ドル性厳されて磨る なだしたが、要するに現在世界、飲金の振り分けがに載いて合理能 が要表されるであらう。それには がである なが出いないないである。 なが出いないである。 なが出いないである。 なが出いないである。 なが出いないである。 なが出いないである。 なが出いないである。 なが出いないである。 いてい 綿糸布 确洲奥地行綿糸布 商船が引下 突張しつゝある、故に類通關により迅速なる 金の生産減で 物價は下るか 朝鮮經由に比し四五十錢安 温間に對してし安 物質に大きく響くものは 積込賃引下げも計畫 運賃を 寧ろ預金の増減 さ、 動し紙幣の養行高が僅かで事 のきして、成るべし紙幣を使はな いで健康活動かせよご脱街してる | 福は一ヶ年約三千五百萬枚 豆粕の飼料は 内地で評判良い 試験の結果も良好 農務課 佐藤氏視察談 一部分が紙幣火船の紙片に使って宿 はれてあるのである――個用を基 使さして養信される祭舗の紙片に 世間には紙幣をもつて交換の銀いが新かが紙幣以外の紙件である、大量の実際を見るに、紙幣をもの実験を見るに、紙幣をはない、小螺手や総管を使ふっては、大量の実験がある。大量はない、小螺手や総管を使ふっては、紙幣をしてを表した。 アメリカなどでは影響いの九幡 れてぬる、キャッシュは小ほとし れてぬる、キャッシュは小ほとし だけである、影像の養行高が特徴 だけである、影像の養行高が特徴 を左右すると等へたのは他のここ る十月分の對外貿易は(単位子、東京一日登電流】大蔵省調査に 設置期成同盟會を組織 洲農業金融機關 田邊敏行氏等が中心さなつて 【ハルビン特電ー日襲】十二月一 (1) 機能率は金ルーアルを百七元の で、 豆粕は市場不況の際、一カマ でに 無効を変わること、 地が速 るる 本の四十五億ドルである、そして観いかり、その紙片の基準たる億用の帳職になってもでは現在四十五億ドルであるが、大しながあり、そして通信の調査に依るさ、アメリカでは現在四十五億ドルであるが、大しはがあり、そして通信の調査に依るさ、アメリカでは現在四十五億ドルであるが、大しながあり、そして通信の観音に依るさ、アメリカでは現在四十五億ドルである。そして観してある。そして観じると、大きながいがいる。 行指金の機能は五百三十一億ド 運動並びに組織方法等を協議 東支鐵運賃改正 一豆粕は却つて二哥値上げ一 七、八七六 大三二〇 芸芸 商議側が異論を稱ふ をも、ないである。信用の基礎になるものが増加しないで思ふのは大師からないである。信用の基礎になるものは変金以外にいくらでもある。 ・ 金本位画に続て通信の基礎した。 金本位画に続て通信の基礎した。 がち今後勝節が下がり、世別の をつのは通貨の転職ではなくなる、だけ、 をつのは通貨の転職ではなる。 すれば緩慢は下がり、世別の をついる。 ではなる。 でもなる。 でもな。 でもなる。 でもな。 でもなる。 でもなる。 でもななる。 でもなる。 でもなる。 でもなる。 でもなる。 でもな。 でもなる。 でもな。 で 半減す 報輸 報輸 出 入出 買付盛んで も同じこさである を管である(奉天電話) をである(奉天電話) をである(奉天電話) の内容はなは群らかならざるも歌を表はより画覧マッチを繋形すべくないと言葉者さも破影中であつたが財政脈は此程版を成影を作り東北政務を財産の歌いを展だが、実 座.黄 鱗寸専賣制の 金融上の保護が 満洲の農業に必要 施行案成る が飛りを受ける。 人の製造は概念の一個東州内及浦 吉林黑龍江兩省にも適用 逐寧省のみならず 田邊敏行氏語 その機能を要揮を得な あるは 大豆暴茨 市 産況 細ない 綿糸も温 當市保 野栗軟 も强調 大類(衛 東新衛10川1 報 四三二一十二二 神月月月月月 戸豆

東東原際 120元

四、地市 況 (二日前場)

式

**高**引養値付上海標金

正 金 (銀黝定)

日本向参看管《銀音》 臺國空

日本向参看管《銀音》 臺國空

上海向参看管《銀音》 臺國空

上海向参看管《銀音》 臺國空

上海向参看管《銀音》 臺國空

(信用付三月買《同》法心片型公共

(信用付三月買《同》法心片型公共

(信用付三月買《同》法心片型公共

(信用付三月買《同》法心片型公共

(信用付三月買《同》法心片型公共

(同二方月買《同》法心片型公共

(可二法心片型公共

(可二法心上)

(可二法心上

\*

仁展原則

米

海路四位一三八大連市伊勢町角) がサバン・フーリストビュロージサバン・フーリストビュロー

三根眼科醫院

2

若松町 4516 支 塔 4516 山銀河 (7344 出張所 (8936 屋ケ浦 (9124 出張所 (920

大連株式商品版引人

10掛介T町実市連大 三ネカンレイタ客信受

**メ**ハ六一六五代語電 番七七回回場市

南部假 (3353 養業所 (5263

大連市紀伊町建築協會三階 大連市紀伊町建築協會三階 大連市紀伊町建築協會三階 大連市紀伊町建築協會三階

商品素

大一 商店



りても常に合理化に向つて進めれ、に相手あつてならね。勿論、國際間の統約にあ、國政府の人々情覚すべからざる事項であられば、ればならぬ。

全部膨止され微調で監査を整には一さ 一枚取洋一元で実飾の電気を用るればならのこと、なり 一枚取洋一元で実飾の

は 理称したるものは全都無効さする
し即つ動製が書を戦略取及所列への動名を開発が著を戦略取政府の
一地 現洋一元で共都の製紙に使り
一地 現洋一元で共都の製紙に使り

息見一致せぬ

エーラリノイとサーナエスキ シー)を称るれ工物は、糖

公債發行額

内務省の二千八百萬圏に

産業助成金などは

期待通りに運ばう

近く景氣のよい話が持上らう

大蔵省は二千萬圓を固軟

回收の提案は

既定の方針

批連行の東京長本際で

漢口の次は天津を目差し

外交部は相當强硬

對外問題で成功

張學良氏の歸奉

來る十七日に南京を出發し

蔣介石氏は漢口へ

蔣張兩氏の協定は

一部會(谷植民地の重要産業の施・職害が、

霧社事件

に對する

政府の能

態度を決定

者は議會前に懲戒

第一部會協議 拓務懇談會の

くべしての歌呼を強ちてるる。 も之が感謝を強要するつとりである。之が終れて欠は天津に手をつ 佛二國のみで佛は大體運附の

一片の口頭禪のみ

天津在野要人連の觀測

政策監督の三項目につき調査研究 あつた機能の原助責任者の虚認が予賞に対す事者 お説明を報信が三十日 脱型に動い上京もたので鑑さ技務者に対す事 る説明を報告を表します。

に大要次の記さ時間観な有つてる を総合するに當地在野製人の糸敷 の場合では、一般の一般の情報

本てひに、強化党ののが村郷があってはな過ぎなのは事業があった時間があった時間を対しています。

在り 戦時 戦もの 井敷 戦りで

学校と醫院の

拓務省で 重要協議 原因說明

十二月一日附で發表さる

直通列車運轉に

高氏の辣腕

支那交通史上一紀元

を 信、人見監測というでは、一事をして、 を 信、人見監測というでは、一事をして、 を 相、小村、小坂殿大官、武宝巻典 は別に定る では、人見監測を持たり、他のでは、一事をして、 を 相、小村、小坂殿大官、武宝巻典 は別に定る では、一事をして、 大事に定る。 一年日十号とり音楽に続いたが、た 大事器を

日本が瞬間を受ける眼様……」 ・ 日本が瞬間を受ける眼様……」 の発験や打響になるさは定まつの発験や打響になるさは定まった。 (要等者の要差が 直に根する、市中の百貨店でもなんでも見るが では発に一般吐尿臓(紫素、 を動きたが総臭物定さ共に地方部 大陸新計 見様の名類と彼楽の戦名 のに定められること、なり、 の際単位、母院の社یは を動きたが総臭物定さ共に地方部 大陸新計 見様の名類と彼楽の戦名 のでは、 を動きたで、 を動きたで、 を動きたで、 を動きたで、 を動きたで、 を動きたで、 を動きたで、 を動きたで、 を動きたに、 を動きたで、 をした、 をし かなったのでだければ

縱橫談出

む・そやう味に変化してある

西徳院の御殿室は京根地が監察番城者の身の上か思名され伊へさせられ続く御鑑かに押されるが天皇墓屋殿陛下には當日【東京一日登電通】殿宮橋には來る六日常六國の御継生を選

照宮様御誕生の

さの定候會見の際左の如く職等し 配着ったが意際問題させて、その室に於て漸緩出入の新聞通信記者 て結構な事ぢやないか」 シンな疑察者の現はれる事は好

御祝宴を御延期

罹災者の身を思召されて

たくカットは凹石組載) に外囲資本の投下に使る其実成 に外囲資本の投下に使る其実成 で解へられて層るが之れに関し で継載は何う零へられるか」

が企べたが自然に

人職をあれたに攻城な外変事践で来れば、た東北四省の外変極が形式上し、地域に管理上中央政府に移り、といいのでは、これのでは

意に際 

造市、飲。写 個五十錢安、觸新五圓安、體新圓二十錢安、觸新五圓安、體新五圓安、體新五圓安、體新五圓安、體新 

中のさころ一日入清大班夫にマーのさころ一日入清大班夫にマーのた。本大田政弘氏(根原長皇) 一日入東東田茂氏(代議士) 同上で来連入外羽保文郎氏(工博) 同上本の上路任人(編載社員) 同上路任人(編載社員) 同上路任人(編載社員) 同上部任人(編載社員) 同上部任人(編載社員) 同上 汉二 思 

式

綿糸反落

科科の飲料で前場を調を辿った動

「職五陸さ大引して強調を辿った動

「大明五陸さ大引して強調を辿った動

「大明五陸さ大引して強調を辿った動

「大明五陸さ大引して強調を辿った動

「大明 物 後 場 ( 星位後) 等付 高値 安値 大引

「大明 を登 美 3 111元年 11011夏 111元年 11011夏 11011月 11011夏 11011夏 11011夏 11011夏 11011夏 11011夏 11011夏 11011夏 11

の聴動物の機構もありのまゝに融ばに就投着の磁でる保室さを明開構に就投着の磁でる保室さを明

を「見る」ここを出 問題ださいよので唇単飛で繋がある は拳脚競技を見物すれば目明きさ

**沙票强調** 

数交渉再開か

(モスクワ三十日要電通) 停順中の東支機道問題際支突機につきロシア代表カラハン氏は本日支那代シア代表カラハン氏は本日支那代が東京艦馬氏に乗る十二月四日より

となる出長官談 木村理事入京

の総東上中であった関東長官太田 の総東上中であった関東長官太田 管内駅び報告載に**建範**園旅打合せ

を表れないものに動してはよく に変が重ができるる。 に動物単常通りにはいくまい に動物単常通りにはいくまい になっている。 が云々されて居る になっている。 になってい。 になっている。 になっている。 になっている。 になってい。 

で三へるかって、それな事を此場で、よる民政署長並に銀の輩に服務 中類死した足崎大連署長 後任 中類死した足崎大連署長 後任 中類死した足崎大連署長 後任 中類死した足崎大連署長 後任 中類死した足崎大連署長 後任 中類死した足崎大連署長 後任 で三へるかって、それな事を此處 で三へるかって、それな事を此處 で三へるかって、それな事を此處 で三へるかって、それな事を此處 他々者へてゐるよ

金輸再禁論

に對する疑義

東京にて古鏡生

れると自転車に乗つても変もも 職社はこの少年の際資不思議な能 強へでに路上を疾艦も得る▲ 重新

は日韓でするところは東緯の理楽方の職態を養生した時は其の所管脈にを養生した時は其の所管脈になりる紛争。

滿鐵社員制

給與規定も別に設る 福に別つてゐる、朝を風見、佛覚 福に別つてゐる、朝を風見、佛覚

校及城群職にも本駒定が適用され

▼何事によらず慣相談に聞じます

北野麓の際電影はしないなりには見の参ぶに供り

111

利

茶

驚くべき進步 デオご航空機の

一十九世紀孫墨文化の結晶として にかけて「ラヂオ」と航空機が生 にかけて「ラヂオ」と航空機が生 から二十世紀の形と である。 億大な發明者生れ出でよ

低めるによって有効に遂行せ 機の低粉の大部分は「ラヂオとって有効に遂行せ 用 行機に避針感文では時さらてトン
で デモ無い方向の誤りを生でる事が
で デモ無い方向の誤りを生でる事が
で ※続きの登達に誘導して臭れるであ
な ※続きの登達はは々「ラデオ」の
で 使用を凝なららめ及「ラデオ」の
で 使用を凝なららめ及「ラデオ」の
で 使用を凝なららめ及「ラデオ」の

本は一は各地の航空神線通信所に より放送せらる、天候領線の通信 より放送せらる、天候領線の通信 より放送せらる、天候領線の通信 より放送せらる。大候領線の通信 親合に於ては航空のは航空機が一般交通には 安全を増加 使用せら

をであらう。

さであらう。

なであらう。

なるさか或け飛行機の操縦側面を
にさ地上から「ラヂオ」で空中の飛
ラヂオ」やは、一線縦者無 気がして他いが時に逐のやるさか は現今では皆「から知れない」の 気がしているから知れない」の 気がしているが、私は我国に違い 「カラヂオ」と等の空間を管理して、 此等 こであるが、私は我国に違い 「カラヂオ」と等の空間を管理して、 いい はない 「大きない」という。 

五间、丙賞三四、乙賞

い時は天空を飛行すると云ふ事は一驚際天候が良くて大きな懸化のな

◆強 送 先 満洲日報編輯局

太陽ごい

つしよに

ぐると

へ廻る家

フランスに出來た

日光療養所

るる、そもて此の部屋は残つも

を可及的に得させやうご努力す

である大海、鳴野等を飛ぶ時、飛り上、 震たる大海、鳴野等を飛ぶ時、飛 生 飛行によって飛行機の現在の位置 大野的には地上に『ラヂオ』この対信 市の上に爆撃が満起し 澤山の無市の上に爆撃が満起し 澤山の無 市の上に腰頭であるが現在のからうがはれて水るのも繰り強いがも知れない、若ともに大変であるが、之はとが機を動きなどのからにはれて水るのも繰り強いがを知れない、若とも解析であるが、とはというとは、一方戦争の時の事とが現在の好くつうデオで指揮しつ、一様であるが出来るであらうがは、そとも解析であるが出来でしている。というなどでは、若とも解析では、若ともいうなどでは、若ともいうなどでは、なるであらうが、ないのとに、というなどでは、ないのでは、ない

事にでも成ればそれは真に惨濫に る 光観を誓するであらう 米國では ソプラ の歌手が減る

しき旅路

人學した女學生の歌音考査を**行つ** ザベス大學音樂部長のヶ氏が近頃 米國コンヴェント市にある聖エリ 米國コンヴエント 市にある聖工

・験十五首。
・助・工首。
・助・工首。
・助・工工・
・の中・スを失い今また弟を送る。
・重なる試練に我が信仰の如何に弱きかな知る。
・傷心機関の旅に成れる
が信仰の如何に弱きかな知る。
傷心機関の旅に成れる
が信仰の如何に弱きかな知る。
傷心機関の旅に成れる
が信仰の如何に弱きかな知る。
傷心機関の旅に成れる

熊

娛滿

樂の 洲唯

設備あ

ホ泉温

0

温泉場

三、一人で何篇應募するも差支二、十五字詰、百二十行內外二、十五字詰、百二十行內外 懸賞募集 

新声車よ盗回の場へまつしぐら起り入れても思ふ今かなである子の残酷の場ではなくは四日の底を急さして変える姿態へば少し般がまれない。 ななが子像く照帳地を変したざはかく然ぐや天に見よ説よる子の残酷がない。 は、みめる子の残臓を次見むと父は四日の底を急さして、みめる子の残臓を次見むと父は四日の底を急さして、まれる子の残臓を次見むと父は四日の底を急さしまが子像く照帳地を次見むと父は四日の底を急さしまが子像く照帳地を次見むと父は四日の底を急さしまが子像く照帳地を次見むと父は四日の底を急さしまれる。

なたのお照れが内地に除って発さ 大類の職地常能の方にのみ使用せ たさころがソプラノの歌手が著る ちる、機は像大な登明の観れむ事 もく観楽し之に戻してアルトが増 かしてゐるこさを發見した。これ を切望に堪へない次第である。 む家がな ▼黄同はすべて機能のこと な。歌門番に度をはかつてもらつて正ない。 は那に住みたいさいふこさならば さです、他つて手歌さなざは無論 近眼と眼鏡ないであるさ視力が弱くなりませっか(大連アエ生)

れ、際を織める結果からであるさいふ

本果 と 消毒 関ですか、 又税金をさられる標 地着の際嚴重なる消毒を受け食 地着の際嚴重なる消毒を受け食 地着の際嚴重なる消毒を受け食 機子は七割の開税さ一割の消費税税関の規定として支那菓子は十割 一般についての規 込みになれば規則書を送ってくれ 軽無は監地虚信局の航空係にお申 が支給されます の手管が支給されます 行士志皇 中ですが資格は中學三年 では目下八名の電動和行 は目下八名の電動和行

■辻利食料

品品

部|||

によって支那人ボーイ事件、同情に堪えぬ、

榮

の厚より

乘合自動車

あ

す

見童の養育程度を考へ下、見童の能力の及ばり仕事を課した場合其の成績のよくないここは 然であるが、其の成績を動一の 的結果な酸成する

あり其の顕極版の上に廃木のやがあつて、其の中心に 融極脈が をすうに、下部には大きな部屋 せしむるさ同時に自信を失ばし の見重の意志力を観だしく参経

0

櫻井內科醫

緊縮節約の折柄

呈

百日咳や 

そうして咳嗽が出る時には細を寒 無は特によりが配の社会 ・解検の素成のある子体 がある子体

**今井醫** 

院

0

は財布の口を開かりこで 同づけられた結果さある 月に入つて何さなく報忙 つた、あさ一ケ月でいや が始まる。 専 申 兒 科

養

0

0

健康増進に 神仙 異正 (代明書送至)

松葉食

(松の翠)

に 保護町電流社会

R

れてるるに至つては寒心に凄へのかならず寒感に放てまで禄は

ス間は日の窓みを完全に受ける。マドの中の緑人も太陽の出てる さ 育、見の質り教はかか 第二を知りの をある 先に 師に着く径はれてあるこ をささだ、だが、他には をこさだ、だが、他には

国食事は冤極清鮮の物を特に選擇して差上げます

総資の家大諸學醫 獣文るす關に競徴 品本見に並善明設

東市信義町

噂をモットーと致します 特に宿料の勉强と親切可

いふいぬのやうな日光療養所がからするとなりといったりですったの際訳で日光 トロボルーセントに郷戦しやうさ

職ならしむるに使用して居る。第二には航空機に労働の維持な

冬季に罹り易い

(結膜炎) 髪治が出たり、噴嚏を

**資本金** 大連

富

士

屋

**圖**<br />
<br />
<br/>
<br />
<br / 一市 西 重

一般銀行業務確實に御取扱可申候 電話(五三四八五二世

○澄み切つた青空の日光!! ○澄み切つた青空の日光!! 一番よく効くものは(治療等日)

**総築を撃し受ける機にした** 

はよろしい。大陸ざんな解棄でも

發疹を件ふ

と、いろし

~の注意・(下)

大連解病院

丁供の病氣

傳染性の病氣

子院さんを激出物つただで、 ・ 大艦の診臓をつけるがもあります。 ・ 大艦の診臓をつけるがもあります。 ・ か、養紙を供ふ疾患は、蓄滑では ・ なったです。 完然院に対するがもあります。 ・ になってするがもあります。 ・ になってするがもあります。 ・ になってするがもあります。 ・ になってするがもあります。 ・ になってするがもあります。 ・ になっているがもあります。 ・ になっているが、こつちで割へる機関は、 ・ でも、 ・ になった。 ・ になった

原は、よ~線管枝炭、 の時には、よ~線管枝炭、

〈策略器しあり)

チョロギ、 サワ 舖 世サ 漬ビ 詰 **於福話電** 

店帽製野西 同日本の国際人名

ネ眞

ブ

IJ

+

新聞

電話六 五〇二個大連教師西東接向

モズク、 時雨蛤、

小

静岡特產

ワ粉

婦産囚 人 科科科

積資 本立本

支店出張所

金金 店 壹億壹千零百五拾萬圓壹億圓(全額拂込濟)

大連市大山運二番

横濱正 金 銀行

**福藤町 事 用** 六四三 ot--7UK 五二—

無他電話 夜間及休日)二一三一四番

OFI油ドロップスは何故推奨せられ

るか ?

ヴィタミンA、D等の名主要成分 、原料は新特許の〇濃厚肝油放、 、尚之に加ふるに有機性の隣、カ B等の強計を以てして有ります を最も濃厚に含有して居ります。 1. で用ひ、又變質腐敗の関れ無き事 に因る嘔吐、下痢等の憂ひ無き事 て完全に乳化して有りますから、更に変芽糖、含窒素物等を加へ 消化吸收最も容易で、胃腸の障害

肝治油 肝油製滋養料の自居 ・ 胃腸を害るの憂ひ無き 小兄は勿論、何人の嗜好にも

醫學諸大家實驗推獎日·英·米·佛專賣特許 帝國發明協會優等賞擬與東京博覽會優頁國産賞牌化學工業博覽會全牌 領受

(圖寫稿)

プブスは、ヴイタミンA・D等の主要成すべからざるは論を俟たす。◎肝油ドロ肝油の滋養力をヴイタミンAのみに歸 價 百二十顆入 一颗 金二圓二十錢

かを最も濃厚なる狀態において含有せしめたる〇濃厚肝油を原料としかたるを以て、普通の肝油製品と異り消化吸收最も容易にして、小兒は勿論、何人の嗜好にも適す。即ち、小兒は勿論、何人の嗜好にも適す。即ち、小兒は勿論、何人の嗜好にも適す。即ち、小兒は勿論、何人の嗜好にも適す。即ちの服病、及び佝僂病の如き骨病、百日咳、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加の眼病、及び佝僂病の如き骨病、百日咳、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加の眼病、及び佝僂病の如き骨病、百日咳、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加の眼病、及び佝僂病の如き骨病、百日咳、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加の眼病、及び佝僂病の如き骨病、百日咳、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加の眼病、及び佝僂病の如き骨病、百日咳、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加の眼病、及び佝僂病の如き骨病、百日咳、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加の眼病、及び佝僂病の如き骨病、百日咳、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加の眼病、及び佝僂病の如き骨病、百日咳、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加の眼病、及び佝僂病の如き骨病、百日咳、腺病質、殊に肋膜炎、肺炎加

1 一条店に無きときは本舗へ御託文を乞より

00療治

法療線光陽太

要替東京七一〇・電話下谷の一一〇一東京市下谷 區二長 町管 業所

が行はれ火の出るやうな 鞍山中學が獲得 中等校劍道豫選大會 人を育ぜ下現在では自然情識の 転 八人組の 支那人强盗

哈爾濱事務所長 三十日 金龍青へ 五龍青へ 二十九日夜歸連

東鐵の

(戦すべきものは織道から其の戦化してあるが、某業人 をもつて賠償してあるが、某業人

東線商業部の代母經營してゐる線

雪愈よ深かく

キーヤ

殺到

家に配って避みつくら同 を連に放てす合が健さり落々さ をを整要した。 をを整要した。 をを整要した。 をを整要した。 を整要した。 をを整要した。 をを整要と、 をを整めた。 をを整めた。 をを整めた。 ををを要して、 ををををとて、 をして、 ををして、 をして、 ををして、 をして、 ををして、 をして、 をして をして、 をし、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして

安くて軽くて丈夫な代表

名古屋鈴木の

大賑だつた日曜日の

老虎臺のスローブ

度東側にては被索状況を調査し続いには時に窓盗事件わり、其の都道機関の一つであるグランドホテ

局等法院判官 二十九 與事館養裝器特胎 卅

根より火拳で開生一行二十四名

在で変した派遣することに決定した 東側にてはが大根艦の減少にはつ

ので二十六日職の連絡列車でペル

村理店組合が 値下げ斷行

平

四年既料理店組合は不散無の機画は一種では、現代な一種の機能がある。

で空間、好評を擦してゐる つ無数で空間、好評を擦してるる つ無数の下に流緩低平部に然て目下恐続を地で空間、好評を擦してゐる つ無数 二、三の雨日

一日午前十時四十分の総管外軍に て驚飛俸職への入響兵四十七名が である。 これを迎へた 新入營兵 四十七名到着 記者の出ること、ソウエート常食 を建設にが一般市場より安くする を建設に必要させのため でき、その結果地方の融人

肚が支那市場に振出せんさして

途に立ち消え

世界の今日においても東部戦だけは、 でででは、1000年間により、ウェート職にては哈州協定の配 ででででいるが、ソウェート職にては哈州協定の配 でででいるが、ソウェート ででいるが、ソウェーナナー ででいるが、ソウェートは、1000年間であるが、ソウェート職にては哈州協定の配 ででいるが、ソウェートは、1000年間であるが、ソウェートは、1000年間であるが、ソウェートは、1000年間であるが、ソウェートに対しても東部戦だけは、1000年間であるが、ソウェートに対しても、1000年間であるが、ソウェートに対しても、1000年間では、1000年には、1000年間では、1000年には、1000年には、1000年間では、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、 のために石炭その りは終三輪姿の上でで満角に動き、石炭、総鶴物等が本場内 **勞農のダンビ** 

死品四池の各線

活躍期にア

らぬ

ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 では では では では では でいることは 要 では なが。 また 活躍

は無武の難乾

さか目的さしたも 

東機能理局にては呼激機終版所能を確認を を確認性をここは限るから戦情質 を確認性をここは限るから戦情質 を確認性のであれば東支さ では、対象を対象を をできる。 では、対象を をできる。 できるできる。 できるできる。 できるが、 できなが、 できなが、 できなが、 できなが、 できなが、 できなが、 できなが、 できなが、 できなが、 できなが、

東鐵當局抗議

東鐵の腹癒せ

炭礦の能率増進の理想化で 適性檢查を施行して

華工にも應用

○是 枝(種中) ― 両 高(長向) ― 是 枝(種中) ― 両 高(長向) ― 是 枝(種中) ― 一 高(長向) ― 表を良して決戦を縦けっ筈であったがその間縦中、長敵はこの代表をなる。 世九日午後六時代戦艦道州降縣地野州鴻螺保織區支那(群人東)合総舎、 に八名組の支那八端巡視入しヒス に八名組の支那八端巡視入しヒス に八名組の支那八端巡視入しヒス に八名組の支那八端巡視入しヒス

十二月から一割五分

道河子一六度である ・ ボグラーニ、寛城子十八、樹 南行東行比率 質力に訴へても

消費組合を再設 ソウエート側の意氣込 に関して関連抗議からたものであ 國境出入制限

住復共五割引さする旨 東畿にて以吉林省立各 東畿にて以吉林省立各

施 (は)近年特をはってきまである。 は)近年特をは、選進しつ、ある事には)近年特をは、選進しつ、ある事には)では、対域の場合が、対域のでは、がは、対域のでは、対域のでは、対域のでは、対域のでは、対域のでは、は、対域のは、対域のでは、対域のでは、対域のでは、対域のでは、対

旅館合同決

味噌製造

海陸縣

御禮

產海

m

JOSHIMURA JO

では、古一村 古一般東市カメ町三丁目四五

連

良

行

第十回英國製作

藩軍購

山洋行

うち南行繁東行の比率

サ▲士圖の駅舎がないので便所で ・一様に便所へはいったさいふので ・一様に便所へはいったさいふので ・一様に便所へはいったさいふので ・一様に便所へはいったさいふので ・一様に便所へはいったさいふので ・一様に要素が愕いてやって来る ・でいふ騒ぎ本に同窓小明手を渡し 中部北海戦がその探索のトップを切って、本共のを実験連携出の戦烈に 一一代級した記者連へ院に入ったのは 上田本へを認識となってのは は上田本へを認識とが一戦であった。 は上田本へを認識とが一戦であった。 は大田本へを認識とが一戦であった。 れんのやゴタッ▲豊陰でやち雨井の暇▲灰さなつたタド かけてはいかりのな

ででウインタースポー ローブさして は、得るスローブは今 安東、売賀、 体を観ける、三十日の 日、緑田の各に よく、選く連中は大臺 連で全く大脈は よく、選く連中は大臺 連で全く大脈は よく、選く連中は大臺 連で全く大脈は 上型とて行く…

東で全く大殿はひか早らた、かく で変更、荒野、海水、临井田、陽野郷、 村、標鮴、临上、機断、漁町、 東で全く大殿はひか早らた、かく して郷脳人のスキー技は日曜候に

除除長に感謝

鐵橋開閉中止

東

京九石の ギセイ號自轉車京九石の ギセイ號自轉車

外山洋行特製 (化粧用)

マ石鹼

平打凾人

金七

+

錢

青葉町の

**建三石** 

月賦販賣の御相談に應じます

田村商會旅順支店

替兵來る

安東地が東郊所では浦柳院隊兵四安東地が東郊所では浦柳院隊兵四

洋服附屬品並に如類一式 旅順市乃水町三丁目

@洋

三服

九后

力

話

驛頭熱誠な 出迎裡に

營口驛の 當

新入營兵到着

(国家會は如何樣にも鐵相談に應う會席御料理で弊店味自慢の季節向奏所の事的時間を要店味自慢の季節向

すき焼

原

旅順唯一の食道樂

つばみを

版

靠

順 117

亦

テ

N

R

話三六七番

際既電像隊本年度新入營長月十七名は一日午前八時五十四分着3十三発車にて際原際に孤麓し、課庭 市十一時電際式か繋行

食

道樂の協議の

量ほ

番み

=

1

和洋食料品、生野菜類群、罐詰、瓶詰、米麥、雜和洋酒、味淋、醬油、米麥、雜

が開闢して大

島

**電話一** 

心。店

保管麥粉

またも暴行沙汰

時三十分際威・社・頭に然で繋行れる。長を職職に出選へたるのち午前九兵を職職に出選へたるのち午前九

菓餅子なら

やまとすへ

鄉軍分會打合會

御用命の用

の程 ・電話四九三番

旅順名物燒饅頭製造元

軒

國恩感謝デー

薪で顔面左腕を毆打

大橋神事城氏は四至館織副分會長、 大橋神事城氏は四至館織會職室に 大橋神事城氏は四至館織會職室に 大橋神事城氏は四至館織會職室に 大路である。 大路では、大橋神事城氏は四至館総数 ため二十九日四至館総数

新入營兵

Щ

世日到着

周年報恩

紀念

那海關監視員

風羅人を一躍し全部 一職利さしては一時

子弟な教育してゐる學校のために から五 尚七千金智を支出した主さ から五 尚七千金智を支出した主さ 人 健康であった 大 健康であった ウンと減る

教育映畵公開 

六日の總會を控

へて

総三駐电缆立法側野兵第六大際に を対した。 をがした。 をがした

まんじ巴の暗中飛躍

は全部陸に飛掛けば上壁線を借めて大名と一十十日来の寒氣に避神の渡水名

日下の戯高様氏は暗螺びの一般市民に主張さ を順け一般市民に主張さ を開け一般市民に主張さ れた安東親島仏樂部 **騷**館組合

戦者参数にして艦別を禁られたが限日共衰 を撃に続て際艦されたが服日共衰 が関する。 を撃に続き、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変し、 をのし、 をのし。 をのし。 をのし、 をの。 をの。 をのし、 をのし、 をのし、 をのし、 をのし、 をのし、 をのし、 をのし、 をのし、 をのし

報恩講法會

盒

備鐵貯

发場構內出發 8

五

石炭商

毛織物出張賣出し

酌婦花代全廢

得

意

樣

話

七

六

丰

東原広本願者に脱ては十八日より 連関東別院職著律材権最氏衆五論 機態談談者を執行せ九日は特に大 が概後老者製女の新聞があ 新、自土區長、吉田島鄉保少、大。 脈管察響長、在井縣長、深電戲報 北電影響等。 大力縣長、在井縣長、深電戲報 展覧等五十線名を携帯しせん日午 展覧等五十線名を携帯しせん日午 物部氏結婚披露

行洋岸山網鄉 洋食御定食

順乃木町

御酒席に限り花代申受す 西南 話 29 E ● 會 ◎葉 ----店商の等吾 、宴會一ラ 田支英テ 外の服洋紗羅 たしまめ始か貨雑諸 較比例を設備さ物品

リブルが 雕圖

中東自由地域 店商野吉

早速御配達甲上げます

其の他間注文の節は多少に拘らず

四十錢均

和洋服類いる人 衣 服店

版 版願審確長大隊本年度満期後職長 金州小學校の見前書
下土 (教育候神生を含む)十名具 午前九時より職堂
よ 卒百三十二名は三十日午前九時三十五 意を養らし保障者は
よ 分策膨霧登列車にて出發せるが際 続が継の餘地なく地
ま 分策膨霧登列車にて出發せるが際 続情遊離等に続った。

農事展覽會と

公

主

改良大豆品評會

出品者は四百名

廿七八兩日開催

スケート奨勵 旅大兩地に理想的な

リンクを今冬設備 運動場に満洲における最初の試み大連ではD・A・O さ協力して大連

を動保健治が至ウインター、スポ 関東職等務課では全て在浦邦人の

四百米奥のリンクを施騰するほか たなし便按し得るさ 他の ロ百米奥のリンクを施騰するほか たなし便按し得るさ をなずべく、今冬は厳順淡水帯に 「トル行ふものでか聞も照明勝備 公かなすべく、今冬は厳順淡水帯に 「トル行ふものでか聞も照明勝備 公かなすべく、今冬は厳順淡水帯に 「トル行ふものでか聞も照明勝備 公かなすべく、今冬は厳勝するほか かなし便按し得るさ 月一日警職舗の第十三列車・ある 御熊砂郷歌談教等に多数の参照者と元余にからと新入祭をは十二 脱職送會を施行課極正能試験場にて多数首民の見送りをうけばれ 寺では二十八日の午後一時より報にて多数演奏立守帰除の際隊兵九十餘 であらうさ 乞食の禁足

思想方面の犯罪

大正十三年以降の成績

大連檢察局で受理した

支那人の

慘殺死體 **怯** 自系露人

(火曜日

響頭に標何數八十五代人員が百四人員四十一名、緊張便數千二十一年の三十八代、人員百八十二名を全種無求使數日四十一名、緊張便數三十四代銀方面に關する犯罪便數日昭和三一集監使數八十代、人員百五十九名銀方面に關する犯罪使數日昭和三一集監使數八十代、人員百五十九名銀方面に關する犯罪使數日昭和三二集監使數八十代、人員百五十九名級一次第二十二年以降本年九月まで大連 名にて、一月より九月迄の被察局

保安地でおお面において物像体下に触り、長期情報をの像下が気づされた脚壁に 一般で地でが市内地壁組合数事者に

勝、男の大概がおいさ、脚々能を容殊 男の大概がおいさ、脚々能を含み大 の大概がおいさ、脚々能を含み大 の大概がおいさ、脚々能を含み大 | 皮肉突引に勝つた處に君の離りが 1野者の秘密の権力が頭白い、 類だ、が各二十本を

満鐵沿線に働らく人々

を終て 取販店に来たのは、三十九 年九月二十二日、繁全ではなって で実成らす、新屋を賃けるこさ正 に六ケ年、不幸病を得けるこさ正

田用殿横、加ては縦、戦、然などの水 ・ 千石幅、萬石幅、熱などの水 ・ 千石幅、萬石幅、熱などの水 ・ 千石幅、萬石幅、熱などの水 ・ 千石に、東接 

驛頭は多數の見送人 ヨーチェン 美味经行 ローマ字 子様のおヤ 一根が掘った歌を強中、一人の一根が掘っから歌を途中、一人の っての老人が種節だったのだ。お 前は今日から他類に探ることをや 的て此の瀬門を守って居れい。わ 思ふ聞もなく、壁の人さなつてもから」 前をきょうさする間に、老人の頭 はごこへいつたやら見えなくなつ

除隊兵出發す

でいふのがその要素らしい。 館村 東郷が配のの様子のの製造であるが、 東郷が配のの原産者からも或る程度の製造であるが、 関行重験は来る七日の総合を経つて後離デザる管であるさ 崇信縣に來で見るさ、 信縣に來て見るさ、での途もだ火龍夷人の論語におった陝西の

けふから實行 地方管や土地の物持ちちの、管幹 「魔楽様は自分の鬱政ル酸、からしたのかと聞くさ、人々は一野にしたのかと聞くさ、人々は一野に

全く以て人民はやり切れません」 「その知事は何人といふ奴がれ」 「寒の皮辨ささ課名してぬますが 「寒の皮辨ささ課名してぬますが で寒深胸さかひいましたよ、臓率 がして、知事の上夜い郷無なども 知事は何んさいふ奴かれ」 た。それに重ひない。松信の要を置ふさいふあだ名をき らしいのです」 それ種の金があるものかさ思ふの一年の興味を表がれ、こんな髪に一般に合のきたないなりを見て、

展にだけ金をやり しのだ。よしそれ ないますから、先の におけますから、たっ のだけ金をやり 高の金をお持ちなので……」 感は、こいつはもめたぞ、何さかして、その機分でもまき上げてからうさ思ひ、にはかに左右に続 であった。 りしは感心したのだが、一般似十

あしのは歌へないさいふ幽なこさ れに歌い遊ばうんさ歌び、歌つ それに歌い遊ばうんさ歌び、歌つ それに歌い遊ばうんさ歌び、歌つ 

を選挙を受かという。 では、現在の監験を影響を受からい。 現在の監験を影響を受からいい。 の町々を悪いですられた。 一般では、現在の監験を影響を表現を影響を表現を表達をして、一般では、現在のの関係を表達をしたが、一般では、現代のでは、現代のでは、ないのでは、現代のでは、現では、現れでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現では、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現では、現代

四六九二香

色の奴が居た。

でしたが、ははあ、此数が検索を でしたが、ははあ、此数が検索を でした数だな。今に見るその窓段 でした数だな。今に見るその窓段 ないて、一般のでであったが、そんな細ぶりも見せ ないて、一般ので丁製に 館の紫 女中 入州世議前後 女中 入州世議前後 女中 大川通六四番中川商會 全部等 電五板洋町高次四番中川商會 全部等 電五板洋町消防 全部等 電五板洋町消防 全部等 電五板洋町消防 全部等 電五板洋町消防 全部等 電五板洋町消防 全部 東東子ツブの外に月手當 から 東東子ツブの外に月手當 かっぱ 東東子ツブの外に月手當 カール・バート内 サショナルバー 貨電

電話と金融

信盛町市場館 電五

電五二九三番

時間修繕

話御希望の方は

金融大口小口信用貨、関人に大馬町一二四 に労適行 小口 常狭町一九七 大阪天龍一天、「上山」
一大阪天龍 一天、「上山」
一大阪天龍 一天、「上山」
一大阪天龍 一天、「上山」
「大阪天龍」 一大福四川、第〜程効〜
一大福四川、第〜程効〜
一大福四川、第〜程効〜
一大石丁九龍子留於原



16







海陸運送

一世話七八八七十

濟生醫院

不不死老 日から質行した

お前にどこで戦師にお遇ひとたのでは、大きにおごそかに立ち上った。でいれば我が師のご命令者ちや。 たどもう観光を待つばかり 畵

の食脈は空になるし、そうそうは 金もちも出しませず、御覧の通り 人民はたどもう酸死を待つばかり の種で…… ですが、そ

る、感じなければで

(++1)

では、近の臓性がな持つて知事に 機性、近の臓性がな持つて知事に 機性した。臓は 機管した。臓は をかってがあってもそんな があっいくら金があってもそんな 続ちやないか。不都合な娘ちや。

| 一般らしい。目のぎょろくした五世の一所に行くさ、そこには如何にも食 満日案内

譲店 カフエー目下盛業中

金 九 招 量 金 九 招 量 金 二 六 招 量 金 六 招 量 二 六 招 量 量 三 拾 鎂 增

福身 福舎世話し、 日加柴商倉電七六年 日加柴商倉電七六年 古金 銀白金費金刷、ダイヤ、吉野町二二 鈴木金陽堂 アッシュ在庫多数安債譲る なんニニ六 ラン がお古質質、交換修理術 カレンダー薬 電六六八四 大連市大山通 小林又七支店

フ分別 武器一切鑑定並質質自家 大連市磐城町五八 南海県山 水三河町 大連狭院電話八六七五番 三河町 大連狭院電話八六七五番 三河町 大連狭院電話八六七五番

白帆高級お化粧紙は 天帆高級純生遊お使紙は 算盤の御用命は

智字 速成教授

諸

三八七七五番

電の 五五 御神下の配は「可卒御用命」 一直の 五五 五番 愛物多歌有り 五五 五番 愛物多歌有り 五五 五番 愛物多歌有り 五五 五番 愛物多歌有り 日極町 さかいや電五四三七番 古着 歴紙 | 数章元 | 拓茂洋行紙店 | 数章元 | 拓茂洋行紙店 | 大阪洋行紙店 | 大阪バイK | 大阪バK | 大阪バイK | 大阪K | 大阪バK | 大阪バK | 大阪K | 大阪K | 大阪バK | 大阪K | 大阪K | 大阪K | 大阪K | 大阪K 常陸町 淡邊衛天電六八四一香 古道具高價買入

牛乳 パタークリ

牛乳 大連牛乳株式会社 電話四五三七番 福井 食事夜具共月廿七組の割 (2000年) 100年 | 100年

最新式電氣式受信機 関連式四十五回 四球式四十五回 蕃 音器 電話八七二二番 會

古市運送店 躍活の屋質 金融機関

一 別 トマリ、マットの設備

雜

寒、冬、熱氣、太陽紫 一般マツサージ

引越荷物

理學的物理療法院 東大連市西護術堂/ラブ前 券債

· 筑後屋笛店

七日の總會後 愈實行運動 長

都減も大いによるこび。

かまく

になりますから、それは電子 といふが思にでも、そうでな をする、本館は

選停機、白尾糸汀

十七代、人覧三十六名であった代、人覧百三十五名、上告代數二院撤經經に於ける經跡代數九十二

り人盛んにて数単に際で萬歳を三男人盛んにて数単に際で萬歳を三

大連出航の御用船宇品丸にて腹も唱し大連に向った。同日午後三時

重砲兵隊

除除兵離滿

小學校學藝會

旅

まる十四日の臨時職會献上で立家 を満の施納売者救派を目標さして を開催し、年後二時学説會献上で立家 を開催し、年後二時学説會大連、前代表自職は「大連」神宮 を開催し、年後二時学説會大連、一時から北清旅館に長春)の三 氏は二十九月夜贈長、三十日午前 十一時から北清旅館に長春)の三 氏は二十九月夜贈長、三十日午前 十一時から北清旅館に長春)の三 た際にし、午後二時学説會した、 を職性し、午後二時学説會した。 を職さして費意を表した機様であ を就さして費意を表した機様であ を就さして費意を表した機様であ を就さして費意を表した機様であ を就さして費意を表した機様であ を就さして費意を表した機様であ を就さして費意を表した機様であ 全滿旅館會社創立運動 天成あつたに野し、組合館では盛ます。 贈の結果一日から左の如く各等さ

かきうけてくれる。 かとうけてくれる。 をなりすらに経験、設電の二齢に をなりするに離り出さした。そ の文には の文には

たりました。 概だ少しばかりです たりました。 概だ少しばかかかん

**李**精

田順天堂 電話三二〇九番 執鮮總督府官製

八九三番〉

の意のある所を覚

**艾家** 黑龍雞流水爐房

部一井

薬はヒシカワ薬局

モミ 療治御望みの方は

(ならいものもありますので、有いや、程さしましても、私自身とならいものもありますので、有いならいとのもありますので、有いないので、有いないので、有いないので、有いないので、ないのでは、ないのものものものものでありません。

高等

宋黄四五祖 大江町六 鈴

木

権人 別へり、キュウ 鈴木丈太郎 電話四六九二番 能登町六七 電話三〇四九番 配登町六九 電話三〇四九番

能へ感動しませう。が、どればならわものもありますので、

「澤山は出來ませんが、三千兩程

た自身で人民におやりなさい」 のが一萬層程人用なんですが、ひ かな

対象
 新築スチーム付貨サ五個
 北川州側迄場所祭町四
 電六六九六 見 元
 電六六九六 見 元
 電六六九六 見 元
 電六九六 見 元

フヨ ウ品雷楽情道 イクキ町 新古癬 電七四三五 一 東 米恵賀特計 電・八六八八 一 田 高個貿人領職次第24上 美濃町七九番 大 谷 岡 店

印刷と寫真し

實印の御用命は 中書 邦文タイプライター印書 邦文タイプライター印書 大連市寺内通四七 大連市寺内通四七 東他=官衙の證明願 其他=官衙の證明願

通勤家政婦 (家事1切)一日一圓 完確實迅速憑遺 安信 會

印書

震 於 逐 送 店

専門のヤナギヤへ蓄音器修繕は

通町栄新鎖連連大 店商男盛尾松

實費診療

香家主》 種家主义 學標質以及院務漁 學標質以及院務漁 學等的人人〇三番  0

途に本邦市場から を概く越へて今や強い乗り切った一個男孩子 画果敢な黙さ意気の人で、アオード酒のかあっ 四十三歳、性果献にして解党は 能に駆逐するに至った 始一貫して標準して 一類年、經營上のあらゆる と戦ひ

信機のセット警及時代が必然到来「ド時代でありラデオ時代である、 氏は、やがて日本ラデオ界に、翌 よ過記でない程に、今日はスピー 然も怪ら時流を視察するに概なる 空間=時間の短縮即文化さいよ を之に合併し氏本來の使命に向っ

財扱つてるた同氏の朦朧は平くし ラジオ機器の積神なる鉱に際目し ラジオ機器の積神なる鉱に際目し を忘れて斯業經營の方 を忘れて斯業經營の方 でであった、 でであった、 でであった。 でであった。 でであった。 でであった。 でであった。 でであった。 でであった。 では、 でいて、 でい く日米間を出致して活躍する所の つたが、震災前齢期して振渡に然った ではラチオに鑑する値 は非常なもので、多くの輪へ記を ではラチオに鑑する値 がある。 警に 関立され、 水規模に ら がめて 栗の前身たる 三共融合が 神田駿河 成行を観響しついあったが、放送する態度、民間の會社組織論等の 日米間を往後して活躍と

尺竿頭一歩を進めて、日本ラデオ ラデオの電波に乗って 新文化は満蒙 (3)

△完全

二最新式変流球使用の受信機なれば態くべき能率

△ 經濟 = 電油全~不要にて電源は總て電燈より簽給され

を發揮し故障が殆んざありません

△ 館甲==子供でも容易に取扱はれ絶對危險がありません

受信機の特長

ない程に、今日はスピー 日本ラデオ輸出協會の誕生

ラデオの警及程度は一層交化を験 | 交化能、影響能關係にある淅洲に搬するものさも言へやう。この意 おけるラデオの警及といふこさは | 一般では、 一般で 明日の中國家庭生活の輝

9

100

米國式の大量製産時代來らんとす なる轉 換

ラデオセット工業の

三共電機工業株式會社々長官、金太郎氏の抱負

時代の尖端を行くシンガー機

| 神品崇飛の驚時の偏見さ朦朧苦騰 | 藤布東町に現在の同社を勝立し、 振媛培育、養威、既に又工場振響 史は、本邦事業界まれに見る所の 中は、本邦事業界まれに見る所の しつト今日の社業へのスタート 自ら別個に一の文字通り開進的連

製中によって又もや各種の工場腔 移り、一が全国能な狡戮さ需要の が表し、一が全国能な狡戮さ需要の 工場か新設機器してこれにリ現在の市外大井町に宏貼

起席逐より支那滿蒙市場進出への來より一層の強味を以てアメリカ 電氣會社で鬱礬なる振振を結び健康近に燃てはサイモトロンの東京 間の各権要地に出張所な設ける

手數が掛らず、經費も掛らぬ、故障のない

等の近年の需要増加が加速度的で一一、ラデオの質用品時代を確信し

二、目前の和益を捨て飛速の策を

動てればならわ

ならわ

スピード時代のラデオ界の龍兒

一交流型

制期的計畫に管手するに至つてる を「シンガー交流烈受信機」が如 定し、同地の加入者に推薦、機脈、 他の群少類似品を隠して普及しつ 南場への進出は耐く幅まつて戦がかって戦が、 満 あるかは、京城放送局が本品を

迎らんさする感激にあるのである 生態の力に借する新工場を設けい 生態の力に借する新工場を設けい なくスピード能な養版の一途を なくスピード能な養版の一途を 外品驅逐

面から歴 倒的歐大塚で の四球及五球共、各方 の四球及五球共、各方 さ相俟つて断然所界のナンパーワ 宮水社長の「試験室師市場」主義 して君臨せんさしてゐる。 他盡、名古屋、殿島、 立場からのみです。こういふ色では、現なる規能の際外連出さいふ 航さいふべきであらう。 の子といれるもの

特に カラスの如きは一座生れ一現在電験な湯州のラチ

ド日支融和の根 東京では内地一流の製造 のに活動を開始す が構成されて、演歌のだ

の接触、戦和への努力さ **厳化粧品、配称、クリーム、 高版**が「滿洲の中國人間に於ける日本

版々この批響が覚衷した時に脱て がき粉茶に一等する響であるが、 賞職の繋がまき起されることであ 人方面の家庭からもあらしの短き は、今まで素組の単調さに悩んで より、外務省の協力を得て大連に た日本のラデオ輸出協會の魅力に

た果代節士が残らした音楽である た果代節士が残らした音楽である

を を と り 高 い 文化 一般は更が、 般が 逐年より高 い 文化 一般でないのでする所の、支那の年中行事たる 漢たる満瀬 こて行くであるにかける候画であることは注目さ さ 地に 弊社は左の怪項を再三再四幾度数 本機出現の趣旨

る、既に伊独品の南安殿が増大する、既に伊独品の南安殿が増大す

東たる清潔の限々までやがて没法 とて行くであらる。日文総管の歌 近代女性の実職が訪れはどめた、

有力な数作者さして影響せれば 五、ラデオ質用化時代に適合する 報便秀品を大衆同價格で供給せ

一般の取者の増加率の調査、完全 な受信機としての電機能及機能能 整作技術の政党等々に全力を検注 たすべく過去二ヶ年除に取り際來 れらの時代的要求な徹底的に充 トップを切った次節であります

四、一般職取者に難しラデオは經 三、フを職政者に難しラデオは故 た概念を排除せればならの 費が掛り過ぎるさいふ實際で途

經療器を賦行いたし、 弦に於いて繁社は卒生この合理的 決し得る自能が用来ましたので 産を行ひ自給自作で解

完備せる工場で大量製 可なり観事でありますが、近點は に至りました、橋し、 足な増加率を獲ら 徹底的に管理する時は歌組以上滿 業向價格で市場に提供することは 言による最新最高級の受信機を大 ました結果、前へ紫社の趣旨が による生産能等が進さ他の追儺 つて居ります て工場の料學的經營に行っても 電気材料のみを敷置

機主要部分の材料は何れと

撰定

◇賊格なる材料の

◇服格極まる製品

る懸狐の事業化した受信機製造の

たりません、繁社は常に「試験できたりません、繁社は常に高かれて を市場して着へ、継続力、 日逝月歩の研究は悉で個人の電 力等の各試験には関係なる責任 ダンス、磁東測定、

戦を賦行して居ります。すべて

めになるさ職信数して居ります に責任める言語であることを御 機告的過言でなく、管際左の加 長を他品を御地蔵になれば、味 合本部金属器で機械的には勿論 △市場に於いて最高級品と △能率優秀で音量豐富に **一價格が絶對他品の追従出來** 事げました弊社のが此と努力 機能によず常に野年に出來て 然低脱なる監 り故障がない監 べてが親切に出來てゐる監 ンガー交流型や信機の凝白の

H . II

本機の優秀なる理由

△ハム(交流音)及雑音は?

歴受信に有力なる監

一般光に積み、不断の敗良進歩を計

- 日本で最初の米國式専門工場で徹底的研究され

大量生産と自給自足で製作されて居りますから

今更申上ぐる迄もありません

用の場合と同等であります

然かも電氣料は十六燭電球一個(四球受信機)使

學型で實際的影脳で糖物つて常に ある確発者を駐職又は社域に称し を表現した。 ◇最新技術の極致 を蓋す

會社研究室(四)同線卷部(五)同仕上部型五球受信機(二)同上(三)三共電機工業 寫眞說明 上より(一)シンガー交流

Kie (Co)

B.B.TYPE MAGNETIC

展オチラ 送放別特

ラデオの大勢

世界に於る

( Section 1)

### 電送寫眞の 丹羽博士來連す 本社ラデオ展で講演のため

日本において初めて電送高度機を とめた日本電報會社の丹珠保次郎 とめた日本電報會社の丹珠保次郎 では、原報の如く我社主機 ラヂオの家庭化を力説

大澤のうらる東ラ大澤のうらる東ラ大澤のうらる東ラ大澤のうらる東ライを日本に初めてラチーが五年前でそのが五年前でそのが五年前でそのが五年前でそのが五年前でその 大澤のうちる鬼で來連したが博士オファンに接続かすべく一日午後オファンに接続かすべく一日午後

御下賜の

御貨影

きのふ奉迎

方が忙がといので見物も出來なが、その部度その用事の度來たが、その部度その用事の度來ない。

お邪魔でしたと

歸宅とた妻女に出會つて

挨拶を交して逃亡

親には勘當され 水上署でお目玉 五千圓チップ事件の

真はコソーく単頭を去る大内衣子》好かつたが、田中さ出鱈目の名前で來たさいふので願ごなしに水上饗覧から吐り好かつたが、田中さ出鱈目の名前で來たさいふので願ごなしに水上饗覧から吐りけの地の不厭無に居たゝまられず、またばい光でも吸はうさ大連に第一歩、そこが力電氣社長の概だなんて典太を飛ばされたのにスツカリ偉くなつて腰つたが、 大内きぬ子悄げの卷 内地新聞に 対かったが がかったが

寒る数長山川秀姓氏の銀に配気を一日夜内様に 脱頭が離するさ共に

濱町に邦人怪盗 かいつたことを知り取り散らかしてあり

民政憲選出代議士森田茂氏は一日民政憲選出代議士森田茂氏は一日

森田茂氏來る

見物する

次に養加するさ 次に養加するさ

**歐豆地方툹災義** 

ローゲキア、何牙利、ユーゴース 南アメリカ、亞弗利加、ニューガーゲキア、何牙利、北大利、チェツコス ジャバ、西印度、中央アメリーフアンドランド、北米合物の一つアメリカ、東京に、英吉利本属 ラヴィア、波鳴、ラトヴィア は かんたこぶふぼは、英吉利本属 ラヴィア、波鳴、ラトヴィア 南アメリカ、亜邦利加、ニュージーて、ケルジャバ、西印度、中央アメリカ、 びスカン

宮内省の整理

淺草寺に賜金

本堂修繕費に

ップ事件の女

長野学博士岸一大氏は一日東京俊 【東京一日教電通】例の明道會々 第九驅逐隊 官民招待 檢事局が取調べ 川桜事の取調 『東京一日教電通』東京美術學校 取氏(1一日午前八時年鑑/表した。

て開かれたが相生由太郎氏の に定評あ

旅順水交社で

上等鶏 食ホーダイ 製正宗三本付 食ホーダイ 製正宗三本付 一 浪速町 セ

た 理由なくして献金する調が、理由なくして献金するは人様だと言ってゐるが同郷の名土に默でを求めやうさするは人様だ 職業婦 八職業の收入が一目で 八のお給金

て謝いるとなっています。

関東京一日登電通 脱き速にては 機能にある 継葉学に 難じ一日本堂 機能にある 継葉学に 難じ一日本堂 は 時代等内徴に 出議じて 呼吸した 同 では かみ ア泉の 動願寺に て 中職の 御 では かみ ア泉の 動願寺に て 本堂は 長原孝太郎氏

3

電話五三七〇

醫學博士 森本粹之大連市大山通三越降二 咽喉科 ビョウ

界各國酒類 00

のお 東京風菓子製罐 し供 餅餅 宅 な丸 ま

なさ接触していれ者な真にして居

8 亦各 名

・ 船名 アール・シー・リックマー ・ 報荷證券 壹通 ・ 報荷證券 壹通 統建立吉野 相、スペシアル・セリグナ石及数量 セリゲナイト五 コンフヰルム leiss "bon すきやき チリ 意園四十銭 ラ食堂園ははいつ四番 線です」但し三人様以上 PICTAS 000 **登風六十錢** 隨意 八院 抵帶日 本劑の特色 四一回よく塗って下さい 阿早部川 正言先生推獎 有益 會葬御禮 電金点型大連市連鎖更大連費油的 人物理致し何時にても は何率御用命下さいま は何率御用命下さいま は何率御用命下さいま 保 田 室前(電六〇三番 文

今度は市内側町に日本人 ■電が現一四、五畿の日本人が行戦を繋ぶて ・ 本田和市店へマントを着た一見世 の成を減からしめてゐる際。 本田和市店へマントを着た一見世 のは、強力を持ち、一見世 を職能に占めたのである。 邀職文を職能に占めたのである。 邀職文 六つか破り得る者は彼だけだらうマテセンの世界的能像一九二、九 際の事情に貼い。



t三

た六番

時時時時段時

MANCHURIASOAPMFGC\*III

Ginseng Wine

17.58

大鷹

玻璃

差支なし)

商

店

韓復渠氏濟南で語る

迫る

生物の記者に

大連市豫算查定 大體全部を終る 新規財源に馬券税

政策本位では継を決せられたきもそれで乗り立郷師にして大によして大によし

大觀小觀

市役所費、衛生費、社會事業費で、 さなつたが、新規事業では之れよ 市役所費、衛生費、社會事業費で り谷脈より提出をる可くたづ主な るものは瀬生高等女學校の校舎者 るものは瀬生高等女學校の校舎者 あいったが、新規事業では之れよ 

叉那線運賃値下に

鐵側口依然冷靜

寧ろ程度を知る好機と

に と も であって と大連に 出して 記 に いっと いっと いっこ と で かって と 大連に 出して 記 に いっと たが か な に かって と 大連に 出して 記

大林 公司

は、 ・ 大連市も登覧機びなごが一つの候 をもしいが、駅気でなごが一つの候 ・ 大連市も登覧機び施ごあっアレ ル海家な襲った鬼賊、著不にて 場の長の感逝、百里な起らで因

欧然たる事實は **小景氣には驚ろかされた** 

も難關は依然ごして貴族院

を發揮

東方の預金から はい総正氏を電観に聴き合後引つと内三萬元を直 どき反称電像に勢力と有張兩氏の と内三萬元を直 どき反称電像に勢力と背張兩氏の が かん こここになってある 去る一

が肯かねば

0 度使へばきつど御氣に召す 利で重要な 缺 TO



於城中心 **扶桑山館** 

民政憲は目下 府案

北滿の支那移民

干鹽味噌

大連市信濃町市場

白赤 白赤

百多

金十四錢

白赤

本年は激減

- 月末で六萬八千

米艦隊の組織

りカい機能組織に欧東を加へ即存とリカン機能組織に欧東を加へ即存と

失業公庸實行

主なる政

後下その他と

霧社事件協議 選ぶかは秘せられてゐる

文那側の獨斷的態度と

關係各國の主張不

こさが出來るであらうか。職學をで至職無事で合作か遂げ行ぐまで至職無事で合作か遂げ行ぐ

北に整備する以上は監然そこに北に整備する以上は監然を

はない筈である。が

事の機成を見てことに完成に参りを観います。 明和三年七月以來完成に努力を観い 地工を見、十一月三十日第二期工事の 地工を見、十一月三十日第二期工事の 髓 御 勝 味 噌 婦人の病は婦人の手で 永井婦人醫院 自久 取話 三六六六番 金拾八錢



張家灣扶餘間 鐵道敷設・計畫 解光を同時に着工か 0

氣早やの連中

モウ滑出す

まだ!

へ凍り切らぬ

鏡ケ池のリンクで

犯人宛の貸金請求書狀で 高飛び先の目星を 杜書春(三)を下手人と確認する迄

兇行後南山で

寒夜を明か



慰められます

快報に安堵の色を面に浮べ

隆摩町に

押

の強盗

留守居の女房を絞め、騒がれ

小澤氏の妻女語る

を訪べて表には「忌中」さあり歌には、これでは表には「忌中」さあり歌に、歌前に「全してもた小澤氏は、一日に延ばしましたが明日主人は然しき二つの遺憾を発養してあた小澤氏は、一日に延ばしましたが明日主人・ 一日に延ばしましたが明日主人・ 一日に延ばしましたが明日主人・ 一日に延ばしましたが明日主人・ 一日に延ばしましたが明日主人・ 一日に延ばしましたが明日主人・ 一日に延ばしましたが明日主人・ 一日に延ばしましたが明日主人・ 一日に延ばしましたが明日主人・ 一日に近ばしましたが、よく蓋平まで

(下)捕はれた犯人杜書春二七歳の時 安心の小澤一家(上) 一一越の者」と稱し 闖入して犯行

犯人就縛の快報に

ホットー

鳥打帽、短衣の支那人

をか着た三十総前後の変称人勢二 大連器では非識な鬼を慌ひ犯人配けるこ、突ummin るこ、突ummin をです」と来来ない。らどストル像のものた成出さんさな呼きては悪妖が帰郷なく選声したが、表に人の足管を聞きつけ、となるなが、表に人の足管を聞きつけ、というない。との表現したが、表に人の足管を聞きつけ、というない。との表現したが、表に人の足管を聞きつけ、というない。

み 木女語る

豆震災の被害

二千二百五十萬團 脱ですか!直ぐ後立つ家事や人俱勝部十二月號の大座調會 しが樂になる

| 「 | では、 | 一物も得す逃げ出す タネは観音を 一定機の者ださいふので安心とて 三機の者ださいふので安心とて 一次膜けるさいきなり支票に私 を突き倒と二人で神へ込みまし な突き倒と二人で神へ込みまし

の影響をつけるべく歌遊がなつ

名

四の神紙

小平島近海に 設備の標

朝日校長の話

木堂翁の姪と觸れ込む

これまで小崗子署での陳述 眞ツ赤ないつはり 前身を養く照今返去が動っての程態く各地より観々

不同之际不允二

懸賞問題

手

卸現

資金

で理解して

特許銅瓦 葺 洋 槍 五 皮

各種 施工簡易

では是非一應御照會の程御願申上ます 高級住宅、店舗、神社、佛閣及特種建築物等の御 高級住宅、店舗、神社、佛閣及特種建築物等の御

商

辨天堂主風呂

にんしんあんま

日下協科醫院

00

屋根材料の一大進歩!! 山灣 は十二月二十日 内田洋行行、満電自動車部から何軒目ですか? 本洋行

類 抽答賞問題 中

ト衣にベツトリ

最早や動かせない酸據に 犯行の一切を自白

藤霞、像で何れも支那殿に敷製し機の際の一行は大石橋野祭署員の

で、のは野獣の畑と見谷時族の廿九日 時景然行で神部が事、那幾神は他のであると、現人社 ため画面と繁介に然行らたのであれば、一本に御用聞きに訪れると、現人社 ため画面と繁介に然行らたのであれば、一本のは野獣の畑とた姿でがはれて、一本の地理を下し、三十日午前九 ため画面と繋が、一世話とた清鏡消費であるという。

捜査隊に一列車遅れて赴蓋

思されたこさがある。 犯人の素性

かまに都然に励び込み、大連製に徹 をに都然に励び込み、大連製に他 をは、一大連の時間内指揮の根を が表だ十七歳の時間内指揮の根を を は、五年前来連し大正十四年五月 が表だ十七歳の時間内指揮の根を 大正十四年五月

交はい階限を常智的に行ってるた 十一月も末の昨日から無温はぐつき下つて三十日の最低高度率下てある、にが微等は企業があったと思いなた――さ今非磁ケ海には楽つた漁戯に白い気を掛ってスーイーへき熱の早いスケーターが待つてましたさばかりにもすまう」さ書りながらいふ、はつさ足下を見れて帰の飲る漁舗はずる」と書りながらいふ、はつさ足下を見れて帰の飲る漁舗はずる。にが微等は企業かくなつた全事がはざくしく解けかけてある、にが微等は企業がくなった全事がはざくしく解けかけてある、にが微等は企業がくなった全事がはさくしく解けかけてある。にが微等は企業をでいることである。

翌朝露天市場で身ごしらへ

ざうやら福岡

上海線だけは

我國の思ひが叶

47

间

定期便

造には我属も計画の具体 開始すべく迫られてゐる問始すべく迫られてゐる

おいて うらる丸

入港運る

所で云ひ、森野で云ひ

母さんがお茶をくれる) 近畿を増 ひまり は手づから水をのむ (第一日はおけまり) の 酸色

大連モー

セールス商會

大連市山縣道一五四番地大連市山縣道一五四番地

輕少の費用で長期の使用へ歩へ得る

「た様でございますかや時きたく なぜえましゃいフ!」さ、機大 れでも繋がやいやさ加賀画で云は れでも繋がやいやさ加賀画で云は れでも繋がでいやさ加賀画で云は れでも繋がでいやさ加賀画で云は たがであらうさ、焼で

えうちに、あそこに立てかけても の必要もなくなつた。大塚さまかの必要もなくなつた。大塚さまか

パネ仏神けのやうに跳れ起きて

(1)文珠峠社堂の場へご火山佐市宅の場五郎蝶一座
工振泉

三度か 、リニ度なはれります。 一度ないります。 一度ないります。 一度ないります。 一度ないります。 一度ないります。 一度ないります。 一度ないります。 一度ないります。 一度ないります。 一方自身のを表者であります。 一方になる。 一方にな。 一方になる。 一方になる。 一方になる。 一方になる。 一方になる。 一方になる。

見科醫院

野之龍形月 平新 木高 治女小川市 郎太 東阪 哉秀 媛岩 子美惡雲八 子潤 井松 てし算清を運因獲の切→

直鐵 道 營省

田田田田間限り

回活

切っとうべる

んそく 解 松尾はり 治療 他庵堂

● 海 東朝時代劇感の禮職 東朝時代劇感の禮職 東朝時代劇感の禮職 本五拾段で作魔出來ます た五拾段で作魔出來ます 五月信子主演

大會

職者でピッダリ合ふ彼の味ある心 小事では何故逃げる、伊丹萬作の

あ する。 がイ本に、A田舎和の識別選先金元 西郷・三葉町四八四四 三葉町四八四四 墨店

ム黄生炭新

・ 上山草港

「さア、役人権の取締 大塚親十

一般計な所へ、邪魔の還入り…」

「満吉!」を、郷で早く行けと促

おのれから吹めて聞くに驚られて大いツ!そのやうなこさ。今題

をさ、地配へ御向けの大の学なり をてある滞吉の側へ答つて

「生命製迦ながちや。さつことはお初期しまた火事場で絶ほうぜ」

鐵大郎は大熊で、地から生えた

「反っており金になり」

んなわなたのお写めでございます

まった人げれた衛冗談も。いら加 えっ大人げれた衛冗談も。いら加

るか組の個を持ち飲つたがよから

(128)

主流市川玉太郎常月曜子新興帝キネ县禰スタジオ特作新興帝キネ县禰スタジオ特作

神学に対象

映画

寫

一語に無疑の意味を含めて

草くいった方が

がなった

理化學用等 版實 整化 大連市恵比須町水十八番地 度" 星本 連六九二十

現代朝茂草紅團

代例、若き日の光回

名材、フノノノスで 酒渍 額様ミア 8 のお 東京風菓子製謹 し供 地名産 餅餅 な丸 ムなら ガキ到着 常盤號 ま

おいしい御飯が出來る

「おきなの御飯 うまいはずだ オトキを使つ コンリャ



即無は特約販賣店 約販賣 店

オープンでそして福木車費のフオードAA型新トラツク

筆者に宛てた書駅の満足を表した書駅の 新トラツク してゐる人より

木棚のあるフ

れば販賣店は使用及び修繕等に■して一切の事をお話し申上げる側電下さい、御使用になる種類に就いてお好みの型を御選擇下さ が出來ます、各部分が集まつて一つのトラツクか出來上りるに足るものがあります、其一個條でも一章を成すほど暫ド新烈トラツクの明細を一讀すれば世間のトラツク遜を睹 しで實物のトラツクな

最寄のフオード販賣店にお出で下さい。そしでます。トラツク其は真に經濟輸送の誇りでありくこさが出來ます。各部分が集まつて一つのト

場げて行つた。 場がて行った。 場がする。 歌話されるかがでする。 歌音は 学学と演藝 長唄櫻會 納會雜評

の小笠原ライオン君 を計の内検がいた実 ライオン君 大

自午後一時(ラデオ展覧會特別放 連 JQAX

前(琵琶關ヶ原)法命山水島旭 三十分ヘラデオ展覧会

大場料金十銭也通用 ★ 東亞 # 木 > 現代 ★ 獄 全八巻 者 子群 泉 子郷ノキマ 子觀 島岡 子歌 木玉

地下室金

+凡七闽西迪大

界各國酒類 0) 誇り

00 店

HJ 分

額

JE2VINE TO THE STATE OF THE STA

### 用を関係の統領は自然無料に出る。 品名及銘前 天 微原 平街春 特定運賃(每一才に付) なるべく関係が配きが動中でありれるべく関係が配きが動中であり、寒に麒麟大連支店で 朝機銀道管局の英節的運賃のなるもので期保されたに拘ら に四億ドル生産されて居る な方法の掛げられる筈であるとが、繋するに現在世界、戦金の振り分け方に就いて合理版の意識の金融原調査委員 が最表されるであらう、それには特敵が減る――こ云ふここ (代つてゐるから、その内にはそれ 商船が引下 金の生産減で お局大連無由の方が 糸布運賃 物價は下るか はいいわる。故には別述なる 朝鮮經由に比し四五十銭安 物價に大きく響くものは 積込賃引下げも計畫 歌してしめ 寧ろ預金の増減 さされ本年四月から内地に野場で保証。 ・ の試験提別研究が、 ・ の試験提別研究が、 ・ の試験提別研究が、 ・ の試験提別研究がよび打合せのため、 ・ の試験提別研究がよび打合せのため、 ・ の試験提別研究がよび打合せのため、 ・ の試験提別研究がよび打合せのため、 ・ の試験提別研究がよび打合せのため、 ・ の試験提別研究がよび打合せのため、 ・ の試験を検討に依託試験を依轄にて ・ の計算が関いたを報じて ・ の計算が関いた。 ・ の 足れば、金螺飾も小銀で漬むから で無き活動にせよる動音してあ る、歌し紙幣の養付高が僅かで事で を、歌し紙幣の養付高が僅かで事で 内地で評判良い 花六三语 10 甲 試験の結果も良好 農務課 佐藤氏視察談 の交換——大商内——には紙幣ははれてあるのである——信用を基準はれてあるのである——信用を基準されてあるのである——信用を基準されてあるのである——信用を基準をはれてあるのである——信用を基準をはない。 して主要に引題さの作品様点の 輸入 0二、五二〇 ・ 五二〇 東京一日登電涌』大蔵省調査に東京一日登電涌』大蔵省調査に 設置期成同盟會を組織 加農業金融機關 田邊敏行氏等が中心ごなつて 大部分が行はれてゐるのだから、 大部分が行はれてゐるのだから、 会理佛や紅幣受行高い歌遊られてる か、大し たこさではない、ナショナル・シーチー懸行の鑑定に依るさ、アメリーチー懸行の鑑定に依るさ、アメリーカでは現在四十五億ドルの・ 神神 運動並びに組織方法等を協議 東支鐵運賃改正 | 豆粕は却つて二哥値上げ | 浦鹽回豆油を六哥割引き | 三、五七三 **五、二八〇** 三三 この三六 て、八七六 商議側が異論を稱ふ がある。けれざく特質によった。 かる。けれざく特質に最も大きく でのは通貨の対域ではなく権金 すれば特徴は下がらない響である。 すれば特徴は下がらない響である。 を 加する。そして信用の基礎になるも か増加しないさ思ふのは大関 かが増加しないさ思ふのは大関 かが増加しるへすれば、預金は増 金本位画に放て通信の基礎は資金である、その資金の供給が減れがある。その資金の供給が減れがある。だけ、世界の概念がでかり、世界の概念が減れ 告とたるよ、設立方法を附議した W Me 安東の在銀 買付盛んで の同じこさである ◆…さころが邦人の歌が対れて私とのできるが邦人の歌が対れている。 金融上の保護が 鱗寸専賣制の 満洲の農業に必要 施行案成本 吉林黑龍江南省にも適 東 大豆塊地安を 100 5 050 5 050 1000 5 050 5 050 1000 5 050 5 050 1000 5 05 無来高 一萬枚 ・ 本稿二三十個 ・ 本稿一三八一五〇 同一二月限一三八一五〇 同一二月限一三〇二 三〇二 一五〇 日本高一百三十個 綿糸も强調 株式出來高(一日) **社** 機限限 米 \* 式 大引 五九八兩八 安值 五九八兩八 五九八兩八 五九八兩八 本 店 8546 中 央 (3774 3868 養殖所 (3868 8514 南部假 (3353 養業所 (5263 若松町 支 店 山縣護 {7344 出現所 {8935 屋ケ浦 (9124 出現所 (920) は、一条町を一条町を一条町を 電話六一一七・六一一八番 で記六一 相談 会社 代理店 松 油汽 船談 会社 代理店 松 油汽 船談 会社 大連市紀伊町建築協會三階 大連市紀伊町建築協會三階 大連市紀伊町建築協會三階 全 島谷汽船速出帆

●原洲石(松江丸・吉吉 護術

電話四五五四八之連市伊勢町角 でも御用命下さいジャバン・ツーリストビュロー

商品家

>株式。御販引き山田へ

が借介す町奥市連大 三孝カンレイタ写信使



南京に在る學良氏

心日南京發北上

ソウェート大會

神長が低期満了まで確認 いってである。歌情にいへってである。歌情にいへ

答せたが、思田氏、一般によつてx 特子でもなからうが何と辞めれ 情子でもなからうが何と辞めれ

不死身の恩田市會議長

早く大内氏を立て度い革新組

駄を靴に穿き代えた

共産系團體頻に活動

・ この調子ならさ革新

は機関が静蔵に渡らし

動めてゐるのであるから萬ざら

橋子を中心さして続つてゐるののさころ、市會 興味は議長の

命艦政本部出任(各通) 中谷達次郎 向艦政本部出任策海軍技術會議議

超兵少将 地造兵少将 地

皇族殿下の

らない

ないが兎に食、風湯に静低さして後輩には大肉をと

對外問題では成功張學良氏南京入りの目的

高氏の辣腕

**海軍大異動發表** 

中將に進級は八名

支那新國定稅率に

仙石總裁

れば此がし最適する、市

た東北四省の州交権が形式上――成は武軍上中央政府に移り ・東北四省の州交権が形式上―

問題は外資に使つて、

は、こうらが一般でする事も日本まい、こうらが一般です。 であるが呼ばゆうする事も日本まで、こうらが一般です。 なんか呼うでもよい、また特殊 なんか呼うでもよい、また特殊 なんか呼うでもよい、また特殊 なんが呼ぶにあらうさ離はん」 である。 ではそれがからが、 ない、こうらがはない。 なんが呼ぶにあらうさ離はん」

北西省、外交権がいよく中央 大の問題に移るさして、今回東

になったが

地域、君等が他のこの意見に反動 ないか……日本にも取り云ふ馬 ないか……日本にも取り云ふ馬

國民外交協會

運動資金に窮す

來年一月一日から實施

わが國の對支重要輸出品は

のであす。新型駅による関帯の帯板は六千萬元程度さ見られてゐる。配するこさになる智であるが、行新開税率は本年五月成立した日文章を終ったので正式・屋の決定を据て近く之を登表し、明年一月一定決院が改委員會で九月以本、審査中の新層定税財、輸入税財、輸

野上た日支

| 上海時間一日難|| 張母良氏は來|| 本願さの關係に動し張學良氏と称| などでは悉く學良氏は不|| 本願さの開係に動し張母良氏と称|| などでは悉く學良氏は不|| 本願さの開発に動し張母良氏と称|| などでは悉く學良氏は不|| 本願さの開発に動し張母良氏と称|| などでは悉く學良氏は【上海時間一日難】張母良氏は來|| 本願さの開係に動し張母良氏と称|| などでは悉く學良氏は【上海時間一日難】張母良氏は來|| 本願さの開係に動し張母良氏と称|| などでは悉く學良氏は【上海時間一日難】張母良氏は來|| 本願さの開係に動し張母良氏と称|| などでは悉く學良氏は 到外問題 嘘を對け 李、巨文 → 對内問題 町ち隠、巌 隠の受縁時代に入るび東北紫葵、 考 塚武 | 外遊南京政府樹で蘸・窓部の彫座 | る郷の受縁時代に入る水水・ 万の口頭禪のみ

中華ソウユート共和國根本法 窓頭を財政職では最近國土の盗寳政治報告大會官

が書を減い、 を受け、 をでし、 をで

宋次 信正

米内 光政

神海軍技術の選を負 本多数大郎 神仏世保海軍を開発 本多数大郎 本多数大郎

**鴻地** 秀熊

在海軍大副 福神風臨迷盛長 武 彦 王

| 東京|| 日教電通 | 海軍奥跡中島| 「東京|| 日教電通 | 海軍奥跡中島|

技原百合一 重問信治耶

天津在野要人連の觀測 の一例である、併と を主自派の勢力擴張のた を自派の勢力擴張のた であったが今回の銅網 行政院長の権力は擴張 であったが今回の銅網 首班さなり國務の一切 首班されり國務の一切 になった、蔣介石 であったが今回の銅網 であったが今回の銅網 であったが今回の銅網 であったが今回の銅網 であったが今回の銅網 であったが今回の銅網 であったが今回の銅網

結局

一億圓以内が

の入超額は

令航空大部出仕 令航空大部出仕 補鄉一航空戦隊司令官 補鄉五部長 補第三戦隊司令官

産業助成金などは

期待通りに運ばう

近く景氣のよい話が持上らう

補水路部長

**追通列車運轉に** 植民地を合せて一億八千九萬圓

來月中旬頃から入超に轉換 造船大佐 中川 カコ

一、原政二郎、米村版田廷太郎、鳥巢玉 大佐 中谷達次郎

補第二水雷同 **金属政本部出仕** 尾本、知

廣田 

本 し、大いて新聞記者歌の質問に答 事 態とみのある数笑を悪はしながら

行政委員會東鐵管理局に

強計事件に對する

府の態度を決定

責任者は議會前に懲戒

るんですか

林 市 **況**二 思

當市軟弱

大気(病気できず)情報(病気できず)情報できます。 東新衛門

不六五四六後 六三九三九 二九九一引

殿の教育情報さやらは知うな

東京株式(長期) 東京株式(長期) 東京株式(長期) 東新一〇五二〇一一五九〇 東新一〇五二〇一一五九〇 東新一〇五二〇一一五九〇 東新一〇五二〇一一五九〇 東新一〇五二〇一一五九〇 東新一〇五二〇一一五九〇 東新館新 東京株式(長期) 東京株式(長期) 東新館新 第一〇二二〇一六八二〇 六八二〇

粮食 出來不申 綿糸反落

村料の軟弱で調当を調を辿った 深は後提仕・關係で二十五 以前の 宗は後提仕・關係で二十五 以前の 守付 高値 安値 大引 等付 高値 安値 大引 等付 高値 安値 大引 等付 高値 安値 大引 等付 高値 安値 大引 一時中 差へ 111元 101112 111元 101112 日本高(銀對洋 全壁 計 田本高(銀對洋 全壁 計 田本高(銀對洋 全壁 計 田本高(銀對洋 全壁 計 麻袋髪らず

**沙票强調** 

○ 現物後場《銀建》 ○ 現物後場《銀建》 ○ 古孫(投込)五九八〇 六〇〇〇 古孫(投込)五九八〇 六〇〇〇 古來高 六十車 曹涵大旦 出來不申 日 袖 一七八〇 一七九〇 日來高 二千五百箱 出來高 二千五百箱 出來高 二千五百箱

類交渉再開か

命艦政本部出仕(各通) 同 少將 玉 澤

佛内閣の危機

和佐世保海軍工廠造船部長 建機中財 伊藤 李次 湖海軍技術研究所長蒙海里技術會

の東支端道間歌歌支突派につうロシア代表カラハン氏は本川支那代 シア代表カラハン氏は本川支那代 ・シア代表カラハン氏は本川支那代

石川登客省 『パリ廿九日報』』]フランスの 夫によつて同内閣の運命は決定な 夫によつて同内閣の運命は決定な

があるといふ肚がある。 敬味さいへば強軟・散新像無難・下手いへば強軟・戦新像無難・下手に逐撃・最楽のさいふ熾と略し

■ 水付海軍造船中将 平賀

驚くべき進步

偉大な發明者生れ出でよ

来航空の ある、駅の焼き降は地上

一は各地の航空無線通信所

で機にラデオ指揮機を指揮者ル乗 之等の空振を呼吸し有害を遊してと地上から「ラデオ」で空中の飛ったがいる、之が管現する。空振であるが、程は我園に驚いてとぶふ金でがある。之が管現する。空振であるが、程は我園に驚いて、空振であるが、程は我園に驚いて、空振であるが、程は我園に驚いて、一葉総者無 云ふ事になるから知れない。此等

五圆、丙貨三品 甲賞十圓、乙賞

あるに見れば此後、物語なのか。 現する調である、之は異だれて神く様になれば本當の飛行列 に爆弾へ満載さ 入學した好學生の歌音考査を行っ、米國コンヴェント市にある聖エリ たのお連れが内地に蹴つて就さしてす、眼鏡をかけないであることでする必要はありません、若しめ 離な眼鏡をかけてあることで必要はありません、若しめ 離な眼鏡をかけてあることで必要 ちるく機工偉大な登明の離れむ事人類の総礼が進い形にのみ使用せ たが翌に堪へない次第である 住む家がない を関いては、 なは長男で昨年交が死亡して以 を開から端別に來て居りますが、五 を別に分家したいこ思ふのです が、ごんな手綱をすればよいで が、ごんな手綱をすればよいで はうご長春上生) ソプラ の歌手が減る

なみ我れから子の幻を今も見て行く 強死ればいされて残る子の傷をづる子の傷

太陽ご ぐる! いつしよに 廻る家 カリ共の風撃戦の上に降があって、其の中心に廻があって、其の中心に廻が

いふいよのですな日光焼篭所がかるないというな日が一世ントに郷城しやうさか百パーゼントに郷城しやうさいないまで日光 を可及的に得させやうと努力す 光療養所 ス間は日の悪みを完全に受けッドの中の網入も太陽の出て やうになってゐる、これならべ して太陽の移動さ共に廻帳す

出光の響歌・戦場はもう完全に 大衆の影響さなった、家を地て 大衆の影響さなった、家を地て 大衆の影響さなった、家を地で 人は日難りのよい家を求め、解釈 人は日難りのよい家を求め、解釈

能はちしいるに使用して居る。 第二には航空機に方面の維持な

百日 その他の病氣

なったりするさ 夜間に多く出る

変を聴して死の事が発い。注意を に来たちデフテリーに催つてゐるの に来た時には、よく重響になり歌 に来た時には、よく重響になり歌

中 子 子 供は、離れらやるものださい、野家と者を訪れる事もあります。それは新変で、早速受者を訪れる事もあれば、解教が発生しましれて、みますが、野家と者を訪れる事もありますが、野家と者を訪れる事もありますが、野家と者を訪れる事もありますが、野家と書きない。

傳染性の病氣

と、いろくの注意…

は、東をのには、本病の後にはよく ・ 本にちずフテリーには、本病の後にはよく ・ 本にちずフテリーには、本病の後にはよく ・ 本にちずフテリーには、本病の後にはよく ・ 本にちずフテリーには、本病の後にはよく ・ 本にちずフテリーには、本病の後にはよく ・ 本病の後にはよく

大連原病院 津 田 武

十五百。一十五百。一十六日朝急遽大連帰を立ち、遂中京城にて兄の計を聞く。昨年兄を失び今また弟を送る。重なる試練に我聞く。昨年兄を失び今また弟を送る。重なる試練に我聞くされて兄の計を りにも響き杯持ちてひたさー子の鍵かはた物言はの小さ

であることは軽くないが、此の動物では、 をないが、此の動物ですま 育するこさの不合理 い見重を劃一館に被 い見重を劃一館に被

設けられた、築造で見てもわか のよくないこさは 性度を考へず、見重 其の成績を動一の

(表)のては寒心に歩へを感に配てまで様は

上に廃木のや心に廻撃轍が

フランスに出來た

育が如何に多く行はれてゐるこれが、世には 数官の光決問題は常に見里の性

緊縮節約

の折柄

呈

総にいるのである。 榮 養

0

健康増進に対ない。 其 Œ 一手配給元 **一个** (I) た 木 洋 行 R (松の翠)

櫻井內 科 監 。院

は王極清鮮の物を特に選擇 噂をモットーと致します 特に宿料の勉強と親切叮 東東市信義町 士 して差上げます 屋

一般銀行業務確實に御取扱可申候 **資本金** 圖姓 連 市西通(排込済) 大連商業銀行 

大自然の光線を浄化して大自然の光線を浄化して 一番よく効くものは (治療毎日) 海際開設自由 金 神維持。其他何でもよろし神維持。其他である。

▼何事によらず開相談に際じます

一般に は いから に で いっと に は いっと に が から に が から に が い ら の と に が い ら の と に か い ら の

は別に住みたいさいふこさならば は別に住みたいさいふこさならば

せっかく大連TT生)
ないであるこ親力が弱くなりまないであるこ親力が弱くなりま

近眼と眼鏡

大連市談路が一看

製調

本

コブ

IJ

迁利

食

料

品品

部川

能を施める結果からであるさいふ ・ 転煙感の顕著さラグビー 11級に整

大連紀伊

Ø

42

7

が歴史

院

0

0

肝油ドロップスは何故推験せら

、原料は新特許の〇濃厚肝油放、

ヴィタミンA、D等の各主要成分

て完全に乳化して有りますから、

更に麥芽糖、

含窒素物等を加へ

れる

か?

を最も濃厚に含有

して居ります。

何之に加ふるに有機性の 燐、

カ

で用ひ、又變質腐敗の成れ無き事に因る嘔吐、下痢等の憂ひ無き事に因る嘔吐、下痢等の憂ひ無き事に因る嘔吐、下痢等の憂ひ無き事

ルシウム、鐵、

キナ、ヴィタミン

等の強壯料を以てして有ります

たさころがソプラノの歌手が落る 加してゐるこさを發見した、これ でさるない、フラノの歌手が落る

たさ

スリント のさーケ月でいや のさーケ月でいや でで来る

台

専 川 兒 科

娱滿 樂 洲 唯 0 設 0 備あり場 泉溫

の驛 より 便 đ 乘 合自動 7 ķ

肝が適し、油は

醫學諸大家實驗推獎日·英·米·佛專賣特許



プブスは、ヴイタミンA・D等の主要成すべからざるは論を俟たず。 O肝油ドロ 便 百二十類入一颗 金二四二十段

法の傍ら、 榮養補給を目的とする。 最も適當なる滋養料なり。

同機 (養育に無きときは本館へ御註文を乞ふ)

東京市下谷區二長町管業で東京市下谷區二〇・電話下谷路一〇

川辻 帶岡特產 利 サワ

モズク、 チョロギ、 小 ワ粉 ピサ 瓶 漬ビ 共福 話 電

婦人 産囚

WE THE PARTY 電桥大 五〇二卷 

科科科

積資 本立本 金金

支店出張所 店 壹億圓( 千參百五拾萬圓(全額拂込濟)

市大山道二番

六四三 一大大 五二—

命は 電話 (夜間及休日)二一三一四番(蜚)四七六七番

新聞 (1) 和 計 計 計 部

と、消化吸收亦最も容易で、美味住香の菓子形を呈し、 製滋養料の白眉 胃腸を害るの憂ひ無き

帝國發明協會優等實際東京博覽會優良國産賞牌化學工業博覽會

領受

磁管の家大器単語 献文るす器に発摘 品本見に並書明説

製創邱太龜合河

かを最も濃厚なる狀態において含有せしめたる〇濃厚肝油を原料としかたるを以て、普通の肝油製品と異り消化吸收最も容易にして、 東子狀となせる美味佳香の滋養料にして一般栄養不良、虚弱、食血、 菓子狀となせる美味佳香の滋養料にして一般栄養不良、虚弱、食血、 東子狀となせる美味佳香の滋養料にして一般栄養不良、虚弱、食血、 東子狀となせる美味佳香の滋養料にして、 東子狀となせる美味佳香の滋養料にして一般栄養不良、虚弱、食血、 東子状となせる美味佳香の滋養料にして一般栄養不良、虚弱、食血、 東子状となり、

00療治

経路もわり)

= 1

Z

### 鞍山中學が獲得 中等校劍道像選大會 表權

部官甑に引渡の行倒れて判

積雪愈よ深かく

大販だつた日曜日の

能したる結果全浦洲の旅館を織った。 ・大株・食社を組織し名旅館変 ・大株・食社を組織し名旅館変 ・大株・食社を組織し名旅館変 ・大株・食社を組織し名旅館変 ・大株・食社を組織しる旅館変 ・大株・食社を組織しる旅館変 ・大株・食社を組織しる旅館変 ・大株・食社を組織しる旅館変 ・大株・食社を組織しる旅館変 ・大株・食社を組織しる旅館変

安くて軽くて丈夫な代表車

名古屋鈴木の博

東京九石の ギセイ號自轉車名古屋鈴木の 博 愛 號自轉車

外山洋行特徴(化粧用)大機評判のよい

トヤマ石鹼で打凾人

金七

+

钱

背葉町の

山

第三四一等

詳細御一報次第現品持書店

旅順

沙所

皇上外

一殺到

老虎臺のスローブ

る田豊督所より安東縣党正式に通月一日まり電分の問際別を中止す

鐵橋開閉中止

月賦販賣の御相談に應じます

田村商會旅

順支店

東 東

がて野行された、参加校は安 である では出日午前十時から軽天道 である である か行はれ火の出るやうな。 無土、軽中、長敵の五 八人組の 支那人强盗

◆林率天縄鎮事 廿九日安率線急

た、現人は外部からの個人者ではたので質似はホテルが質い際間し

東鐵のソウエ

二十九日夜歸連

世九日午後六時性咳暖道州降縣地 原界滿暖保機區支那儲入患合宿舍 に入名紙の支那人鑑金使人也ピス トル、支那乃等を振つて電道 保 トル、支那乃等を振つて電道 保 を競響合計百五十圖 強勢透走し

ので二十六日歌亞連絡列車でへ

東銀にては赤大根組の紫沙に代っ

入替兵來る

安東地が事務所では補助際隊兵四大二名に難し。軸の意を表するため安東名所練事書を一都完成系し

除隊兵に感謝

洋服附屬品並に細類一式 第6年前第一中 山

₩ 洋

三服

九番店

Ď

性母語 質引散 安光譜

話

**琴頭熱誠な出迎裡に** 

本風から特別の観道

領事館籍祭署特部 卅 整法院判官 二十九 品譯習生一行二十四名 務局時部 三十日旅 千八名 三

村理店組合が 値下げ 四 平 斷行 街

は一支那機で終した。ころ底別のなかったに一支那機で終は人國を禁止して、ころ底別のなかったに一支那機で終は人國を禁止して、これ近く十名の銀

十二月から一割五分 道河子一六度である 南行東行比率

機け、密であっ 一直高(長息) 一面高(長息)

廻りシーズンで東郷の輸出 實力に訴 消費組合を再設

無憂華公開

二、三の所日

李権人會法院、本社支原後級の下来る十二月二、三の二日間西本院 新入營兵 部に於て目下液線各地 四十七名到着 東支東部線におけるソウエート従来を東支東部線におけるソウエート従 ため管理局長から脚を理事会に通 ため管理局長から脚を理事会に通 ソウエー に関して販売抗議をしたものであ ト側の意氣込 國境出入制限

遂に立ち消え

準」を公開する

版出せんさして

出場するこさに決定し午後六時間の総集戦中が飛外離の低表さしての総集戦中が飛外離の低表さして

こっができるの結果地方の歌人 を種酸説が一般市場より安く歌るを種酸説が一般市場より安く歌るを種酸説が一般市場より安く歌る は個事の登絵した監照旅館を必要 **勢農のダンピ** れを有されものは一切 

池島四池の各線

哈

活躍期に入らぬ

中川チ、

ハル公所長談

は無流の野克

が、 まで にいふこさは 画性を 軽由し 南

日下其の準備中であるが、ソウエートさしては党力をもつて解決するとになり 中に指電組合を再脱するとになり 東鐵の腹艦せ 

地た野家治殿が勝手に使用することのトラセックに割き東線は接土 中のトラセックに割き東線は接土

前八時の報告によるさ無調的の世間を表る、東鐵殿殿内の世

他をなるをできる。

炭礦の健準増進の理想化で

機能理局にては呼渡線数証期謝 東鐵當局抗議

一般のから変数を取りていた。

適材適所主義 華工にも應用

のおつ絵質に 繊維、静線、整径、整径等を形型・1のは運転を吹んでして、これで、変化を放行するものは同が配に、その他名ものは風が取に、その他名ものは運転をに、電線が配に長ず 適性檢查を施行して

・ 戦力が性級ならに使りコストのは近年後続け、変態しつとある事

会議旅館整者の大合同、壁に最近 を地に旅で食合が脱され酸くされ でででであった合同、壁に最近 とり季点を真長歩に岩板総事外。

YOSHIMURA 30

村商會

連

浪華洋

十回英國製作湯時時

山洋河會開始

くて 製物を設介が至

旅館合同決議

3

**会**替油膜造

海陸群

物軍魚

產海

問用

屋達鉾

井町

か本年特麗シーズンされつてから ・ 地哈は影響の市場を製剤、地方 ・ 地路は影響の市場を製剤、地方 ・ 地方 ・ 地方 ・ 地方 ・ 地方 ・ 地方 ば上出來▲鑑鑑と新一興であった
は上出來▲鑑鑑と新一興であった 上ではいることながら、すず地は、清爽した記者送▲焼に入つたのは つた▲其の夜美妓連橋出の歌迎に哈配者剛がその招答のトップな切 

大洋)を補助費さして支出するに大洋)を補助費さして支出するに 路警費の節約

校士に影戦の上守伽跡に入り、午名は一日午前八時五十四分暦31十名は一日午前八時五十四分暦31十七三列車にて整照戦に強齢し、課院

新入營兵到着

覵

背

集

順 M)

亦

テ

N

話三六七番

原

前十一時電響式を繋行

単ほ

ーみ

=

Л

和洋食料品、生野菜類酢、罐詰、瓶詰、米麥、葉酢、罐苗、瓶詰、米麥、葉

機關國人大

國恩感謝デー

東畿理事會は一九三〇年度の追加 東畿理事會は一九三〇年度の追加 濱江雜組 營口驛の 

**支那海關監視員** 

またる暴行沙汰

時三十分際配融社々難に於て繋行兵を緊蹠に出連へたるのち午前九長を緊蹠に出連へたるのち午前九

鄉軍分會打合會

御用命の程御進物用珍菓色々取揃つて御座います

旅順名物燒饅頭製造元

菓子ならやまと町へ

薪で顔面左腕を毆打

大概乗事級氏は四平能経費 大概乗事級氏は四平能経費 で原能の軍人會緩縮支部管内を分 での正融分會長打合會器に出席の ため二十九日四平能経費

新入營兵

御折御茶むしまりんむしまりました。

二個に付

四十錢均一

草連御配達甲上げます

W

奴

主 番

話

其の他御注文の節は多少に拘らず

鞍

山

明光二十月年収息を 一十月年収息を 一十月日本収息を 一十月日本の 一十日本の 一

無真なもつて酸めるが

から五四七千金留を支出をから五四七千金留を支出を 人貨車であった 保管麥粉

ウンで減る

の答字と美所長は四カ日の確定で阿哈字と美所長は四カ日の確定で阿哈 哈は未定である 路十の為州五日東京に向つた、 路中の為州五日東京に向つた。 

東支東部線核道河子の大学サンド では特別の野標道を収集するこ にては特別の野標道を収集するこ 廿八日呼海線に向った 性復共五割引でする旨登浚した のため条期休暇で、書するものは 東線にては吉林省立各悪校の歴生 あるが、今回惣谷の映画は軍事映 の総に映画な上映するとのこと 

ざるに歪った 遼河結氷近し 七日本の寒気に 建河の流氷多 から見るに
配施・ で見るに
配施・ で見るに
配施・ で見るに
配施・ である。 の数 になって
来た 十二月六日建會を除傷

は大きんとする一般と大 を描き込とする一般と大 を描きるとする一般と大 を描き直さんとする一般と大 を描き直さんとする一般と大 であるが目下の厳重観氏は情報 に新微説の影響者を定め盛 けて版々と来致した配像を がした。 であるに登るのであると変いと大 のあるに至ったが、実ーはなの に新微説の影響者を定め盛 けて版々と来致した配像をの振り と見られて居る、又意地氏 しのあるに至ったが、実ーはなの に新微説の影響者を定め盛 けて版々と来致した配像をの振り であるが目下の厳重観氏は情報 しのあるに至ったが、実ーはなの にかれた間線は世襲を をであるから今後は変にあるが にかれた間線は世襲を をであるから今後は変にある。 をであるから今後は変にある。 をであるから今後は変にある。 をであるから今後は変にする。 をであるから今後は変にある。 をであるから今後は変にある。 をであるから今後は変にする。 にある、。 はにつき数を をにつき数を をにつきると をにつきると をにつきると をにつきると をにつきると をにする。 をにつきると をにつきると をにする。 をにする。 をにする。 をにったる。 をにする。 をにする。 をにする。 をにったる。 をにする。 をにったる。 をにった。 をにったる。 をにったる

物部氏結婚披露

める競俱 六日の總會を控へて まんじ巴の暗中飛躍

自分の進退一切は顧問に一任息時の事を遊げたい。自己の意見時の事を遊げたい。自己の意見は改めて娶妻する時あるを思って差控へる 旅館組合 出述へを受け時間が大きな大い。 は途中総なく三十日午後六時三十 に途中総なく三十日午後六時三十 にが地がある所長、端木駅線に は様地がある所長、端木駅線を は様地がある所長、端木駅線を は様地がある所長、端木駅線を は様地がある所長、端木駅線を と、高が数線部次長 が表現の他信氏を駅の でして長端。 毛織物出張賣出し

酌婦花代全廢

得

意

報恩講法會 瓦 房 店

石炭商

矢

-

\_

職したが概念者類数の数認があ 連貫東別院報音が付か日は特に大 機態無視會を執行せ九日は特に大 が成立を表示する。 一年日本のでは、 一年日本のでは 一年日本のでは 一年日本のでは 一年日本のでは 一年日本ので 際、白土區長、吉田鹿物(保)と、大連、 解順方委員、小野寺院長、大連、 新日支嗣及及長編集人郵便

新 鐵 貯 炭 場 橋 內 中等代田生命保險相互會社代理店等社代理店 上の大 行洋岸山飛鷹 事所

洋食御定食

カフ

r

E

で話四七八番

御酒席に限り花代申受す 西南 話四 Ξ · 會 ●葉 ----店商の等吾 外の服洋紗羅 たしまり始た貨業諸な奇立調度一貨業諸

一、日文英テーブー、日文英テーブー、 - N

配比例を設備さ物品

店商野吉 **杨大八一区理** 

工所

殿店

衣

和洋服類がある人は、新古毛附上ンピ、オーバ、オーバ、オーバ、オーバ、オーバ、カード、オーバ、カー・ボールの大学

婦人コ

第6未満保敷さらては百二十六保 人覧二百二十二名でおみ、なほま た本年度一月以降五月まで高学校 院板察局にかける拡訴党販九十一 院、人覧百三十五名、上告党販力十一

法 な婦の在職軍人在旅谷交融管外兵 一 別職に表學校有志配各方館の見法 一 り人盛んにて費車に際し高齢を三 時に大連に聞った、同日午をこ 一 大連出館のすった。同日午をこ

重砲兵隊

除除兵離滿

小學校學藝會

分蔵順票養列車にて出費せるが職

厚東州圏司令官、三浦内務中谷一會把に閉會した

主

嶺

経過を達べ夏に政済宣行家を提示

氏は二十九日夜僧長、三十日午前古代二名の同業者を経致し協議會

維(朝天)岩吉末楼(長春)の三

表情流動等に動な歌の記意学報會は三十日本を持ちるとでは、一般ないの記述学報会は三十日本の経典を表して、一般ないの記述学報会は三十日本の経典を表して、一般ないの記述学者が一般ないの記述学者を表して、といいの記述を表して、といいの記述を表して、といいの言語を表して、といいの記述を表して、といいの記述を表して、といいの記述を表して、といいの記述を表して、といいの記述を表して、といいの記述を表して、といいの記述を表して、といいの記述を表して、といいの記述を表して、といいの記述を表して、といいの記述を表して、といいのには、といいのには、といいのでは、これのでは、といいのでは、これのでは、こ

▲九等河野氏▲十等中村氏▲十 一等枝元氏▲十二等槽島氏▲十 五等林田氏▲十六等以下島崎氏 五島氏、岡田氏、川原氏、石井 氏、空島氏、岡田氏、川原氏、石井 大山氏、門田氏、樂林氏、高橋 氏、佐藤氏、横來氏、海液氏、 大山氏、西田氏、樂林氏、高橋 表大會は芽出座く設會した を指手機に夫々数品の機具を宿 が終に大成亦裡に第一回全旅順圏 の姿に大成亦裡に第一回全旅順圏

關東廳大

々的に

農事展覽會と 改良大豆品評會

出品者は四百名

会主需要事成織の説明を終り数 十、四等二百の記四百點であった 原事版戦會遊に吹良大豆の記評會 其他の陳列品を運動記念の職終に は二十七八の順日に取り盛大に撃 なる午後一時宴會に移り場長の課 は二十七八の順日に取り盛大に撃 なる午後一時宴會に移り場長の課 は二十七八の順日に取り盛大に撃 なる午後一時宴會に移り場長の課 は二十七八の順日に取り盛大に撃 なる午後一時宴會に移り場長の課 なる主需要事成織の説明を終り数 十、四等二百の記四百點であった 事場長の農事成織の説明を終り数 十、四等二百の記四百點であった を主需要事試職場にだける本年度 良出品大豆及農職化學室農具家部 を主需要事試職場にかける本年度 良出品大豆及農職化學室農具家部 を主需要事試職場にかける本年度 良出品大豆及農職化學室農具家部 廿七八兩日開

旅大兩地に理想的な

ンクを今冬設備

除隊兵出發す 驛頭は多數の見送人



「その老人が齟齬だったのだ。

東職が頭の常局者からも或る程度 東職が頭の常局者からも或る程度 東職が頭の常局者からも或る程度 東職が頭の常局者からも或る程度 東職が頭の常局者からも或る程度 まテルを除く) 満線食社よりは 現在の所屬底館を現物出資さら でこれ亦参加を乞び従来の經營 以外に歐、支人を顧客さする國際的ホテルをも新設して登展を 際的一方、現在のが簡繁養者に できれた機業養液を至する 向に對しては政府に對して低利 信縣に來て見るさいでの途とを大龍風人の論語にあった陝西の

保安地位が市内理要組合監事者に 保安地位が市内理要組合監事者に 保安地位が市内理要組合監察 保安地位が市内理要組合監察 保安地位が市内理要組合監察 保安地位が市内理要組合監察 保安地位が市内理要組合監察 により、 保安地位が市内理要組合監察 により、 において特別他下 けふから實行 地方官や土地の競技ちらの、管附地方官や土地の競技ちらの、管附 に、こんな不解事な聞くのを裏げないのだそうです。それで地が館 の倉庫を開き、また富嶽も幾分がありました、第二年目の時と

地方供院、総称原に と、 一 地方供院、総称原に と、 大正十三年以降、 大正十三年以際、 大正十三年以際、 大正十三年以際、 大正十三年以際、 大正十三年以際、 大正本年の結合、 東京、 な正本年の結合、 な正本年のは、 な正本年のは、 な正本年のは、 な正本年のは、 な正本年のは、 な正本年のは、 な正本年のは、 は、 な正本年のは、 は、 な正本年のは、 ないまに、 ないまに

世界 名にて、一月より九月港の樹寨局 受理体数は二千六十四代このうち を 公野津来で数に二千六十四代このうち と 公野津来で数中合語で数三十四代 一人 真四十一名、 東嶽で数二十四代 一つ 九名、 東嶽で数二十八十名、 東嶽で数三十四代 一つ 九名、 東嶽で数三十八代 人員五十九名、 東嶽で数七百十代 、人員五十九名にてその他の東嶽で数十二十一の 一 とてに四十七代 、人員三十六名と

田用窓御、加ては郷、総、結なざ、千石職、萬石職、結などの水 もたが、其虚には国際店を出い来 とたが、其虚には国際店を出い来 である。

の人民会部に金をや

それ穏の金があるものかさ思ふの一代の無味を覆がれ、こんな男に

であった。

も三十七、入萬阿

「一碗十萬さ眺す程ではございませ

**女家** 大黑町電氣遊園裏 岩代町六番 晨 巳 屋

商品 旁勸業債券

で信用を輝むて居るが、ドウも人 一で信用を揮むて居るが、ドウも人 で十年契約で支那人から三天地 が、それでもモ少し根塩か丈夫に

多い土地に育った×け、明治三十 ・ の国周豪都、船乗りや漁師の

大四子に最近分娩と この通

正成での数ださいった歌い歌い哲二君 の変ださいった歌がは他の歌い野で歌い音がでいった歌い歌い音がで作っている。 おの歌に野する熱・一切ならきくさ、君の歌歌に野する熱・一切ない。 かつ気は 中歌の は けった かって これ は できない は は いった これ に いった これ は いま いま いった これ は いま いま に いった これ は

を を の 直ぐ下に、小臓れにをふた小臓がそれだ、日野監臓で表れたが、日野監臓で表れた小臓がそれだ、日野監臓で表れた小臓がらもは密裏で苦力を指揮し、 高乗程など こ

田園地帶を旅

満鐵沿線に働らく人々

七波

に六ケ年、不幸病を得て大正元年て難成らず、養居な譲けること正

八年六月の渡浦後し、難く大連附 のる紅度を鑑んだりしたが、密陽 ある紅度を鑑んだりしたが、密陽 を握て瓦房店に来たのは、三十九 を握て瓦房店に来たのは、三十九

最級は裏と野楽類を接信し、瓦房 数年六反歩幣リ帯戦地を借り受 数年六反歩幣リ帯戦地を借り受

七日の 愈實行運動 長 總會後 春

全滿旅館會社創立運動

全浦の旅館業者投資を目標さして とた實行業を提げて流線各地旅館 した實行業を提げて流線各地旅館 組合の意識な質しつくある著後策

の結果。一日から左の城と答尊さして 数に事態料金の値下げなな総勝す

(六十二) 不不死老

人民はたど の倉庫は空に

遺至極な奴で に彼につけて 「道知事は個 て後続される、だくて

食どの本性を現して来に

名判 スグ出來ます 大山流(日本橋駅 大地流(日本橋駅) 吉 野 館話(五五九四番) 大連寫真館養夜撮影男女 大連寫真館養夜撮影男女 大連高真館

南側 せしめ(現在端鏡直管の 新たに資本金五百萬個程度の滿 新たに資本金五百萬個程度の滿

前なきこうさすら間に、老人の姿が高山から離る途中、一人の老人が手招きするのでいつて見まって、その書館を出しました。名 お前はどこで戦争にお過びしたのでは、大龍は我が静のご命令者がや。 枝 されて、御髭の通りませず、御髭の通り 明書 続らしい、目のぎょろ!

救濟、惡知事

ホテ で全の二輪が登起合では一日 を整理を持ては一日 を変の二輪が登起合では一日 一部がでも自動車を がでも自動車を では一日 で変の二輪ができる。 二五五後 一二五五後 一二五五後 一二五五後 一二五五後 一二五五後 一二五五後 一二五五後 一二五五後 

一学家府の知事、職の皮料さの下 後は、此の厳告文を持つて知事に 報告とた。職は 夜があけて此の殿告を見た村人 ならいるのものもありますので、 育またそれん 人民に施してやられ

「冷さい云か奴はきつさ無狂ひだ」 こつ配数して下す。ここでは知事さらて施さればならぬ た自身で人民におやりなさい」 「澤山は出来ませんが、三千兩程

貸家

印刷と写真

印書

大連西道 吉田代書事務所郷常電話八四九六

西公園町六九

日院

電話八二〇三番

引越荷物

貸家

高等

宋實四五個 木

婦人 病へり、キュウ 鈴木丈太郎 電話四六九二番 ・ 電話三〇四九番

た五 ⑩ 満日案内 

カフエー目下盛業中

実中 の御用命は 吉野町 一点堂 電話七八五九番 ・ 電話・ 電話八四七一番 ・ 電話・ 電話・ であれての七一番

古金 郷白金貴金属、ダイヤ、 古野町二二 鈴木金陽堂 市野町二二 鈴木金陽堂 譲店

大連吉野

店員 播磨明九七

天帆

女中 入用世歲前後 大山通六四番中川商會 塵紙 白帆 不用 品親切本位質受 教育元 拓茂洋行紙店 教育元 拓茂洋行紙店 此印に限る 成洋行紙店

ニチ ロバン 電話 時計に関いた 牛乳 牛乳 パタークリ

を持賀元和市を即止とよどき系系系 を特質元和市を即止とよどき系系系 を持賀元和市を即止とよどき系系系 を表現した。

論より證據如何なる急性慢性でも 大悪市監部連束郷町角大連市監部連束郷町角大連市監部連東郷町角大連市監部連東郷町角

皮 軟 梅 岳 洪 东 街 岳 洪 东 性病

站

婦科 川児科 槄 院醫. 語

若狭屋質店

|躍活の屋

É 融機なる

皮膚 病 森縣

通勤家政师 美震町五七豐語二八六 美震町五七豐語二八六六 會會 電話セハ穴セー

濟生醫院

王橋保建治療院工工衛保建治療 滿洲特約町町

大連市寺内通四七 東扱致します 取扱致します 取扱致します 取扱致します の證明願 **震震,松運送店** 

債 通町栄新鎖連連大 店商男盛尾松

四 洋服預舊數 筑後屋的店

醫中野

仁芳谢行

さずし、 かなるんは、 で、 かなるんは

歌にお願いますから、先のに、とそれ で原育地がが殊に を発いますから、先の

のだ。よしそ

でして、その機分でもまき上げてかして、その機分でもまき上げて

ますので それな……」

んが十四五萬阿は持ち合せてかり

西海電車道四階建 大連市演路町西海電車道四階建 大連市演路町

小口

報恩講法會

木造建物を造その縁根下にてスケート、のと、カパート、リンクは地上 大連ではD-A-Cさ協力して大連 ・ こして三百餘坪の大カバード、リンクル越跨、かくて屋内に際でアイスネックトやフィガーその他の ・ 大連要ななすこさ」なったから ・ 全を大連のスケート界は一層 ・ 全を大連のスケート界は一層 ートル行ふもので本間も照明設備 をなる競技と得るさ 日一月一日管藤蕾の第十三列車、ある は二十九日管藤蕾の第十八列車 報恩講社 も元線:輸公した新入標には十二 慰練芸會を施 にて参戦官民の見送りをうけ何れ 寺では二十八日 を主義を表した新入標には十二 慰練芸會を施 のを対している。 乞食の禁足

理髮料金

いじめ、間接には交像を欠食にま いじめ、間接には交像を欠食にま てあつたが、そんな細ぶり」 でした気だな。今に見るその聴く

もので

貨電

話御希望の方は

第一年間修繕 一時間修繕 がまで東くなかします

日美通 日曜洋行

一六〇

御祭参拝歌宗教等に多飯の参拝者 ・ 一等では二十八日の午後一時より報 ・ 一等では二十八日の午後一時より報 ・ 一等では二十八日の午後一時より報

四百米突のリンクな施騰するほかかれていて、同様ではこの卵を逃せずる。

思想方面の犯罪

大正十三年以降の成績

大連檢察局で受理した

支那人の

白系露人

慘殺死體

守備兵が登見

海拉爾に謠言

頓みに 映画さなって楽

兄童」は二十七日午後一時 の海賊動戦は二十七日午後一時 の海賊動戦は二十七日午後一時

でほつておいたのか、壁へは奏能 したのかさ聞くさ、人々は一覧に したのかさ聞くさ、人々は一覧に かりで、知事はこれを教演しよう

には伽媛、一方には悪蟹の手です 全く場て人民はやり切れません」 「寒の皮粉ぎこ霞名してゐますが 一がには悪質の手です 方 色の奴が居た。

館の紫

信濃町市場前 電五二九三番 学 大連十二三四番 電話四五三七番 電話四五三七番

外 電話八七二二番 一衛

**高級純生漉お使紙は** 

福料 食事夜具共月廿七圓の割 山縣通一九三龍田館電三三六〇 人一室廿五圓より 人一室廿五圓より 三河町 油內 電八七七五番

最新式電氣式受信機 内域式四十五個 四域式四十五個 古市運送店惠比須町五八四三

しはこれからすぐ「残酉の方に行く めて此の瀬門を守つて居れい。 わりて此の瀬門を守つて居れい。 わ 冷け悪心呼び片足を上げたかさ

拓茂洋行 電話五四三九番 カレ 河島 "シン店 電六六八四 常盤橋 常芸術 で換修理術 大連市大山通・小林又七支店

一門札 網戸物 大連棋院電話ス六七五番 1000 地の 1000 地の

貨物自動車 格地行一般荷物、引越 を地行一般荷物、引越 をと非御利用 をとます

曹門のヤナギヤ?

かきうけてくれる。 をは早速四五十松の廣告文を書 をでのうちに経廊、派電の二本 をでのうちに経廊、派電の二本

75

艦帆も大いによろこび、

かまっ

地が行さしても続じて対当することが対しても、本情はは一次では、本情は、本情は、本情は

病神経痛による

姬

白尾糸汀

この事は全くわなたのお力を借いているとして、 がは出来ませんので、 が診めな がいいと さつた。 常は早くも眠の意のある所を養

しましても、私自身

**英家** 以能差九九 田 部 李精 初鮮總督所宜數 持田順天堂 電話三二〇九香 持田順天堂 電話三二〇九香 海水丈太夢 電話四六〇一香地 八漢町五丁目二〇一香地 モミ 探治御琴みの方は 静木丈太郎 電話四六九二番 鈴木丈太郎 電話四六九二番 薬はヒシカワ薬局

佐婦・乳・の 一種 新りの 御用談に 連びます 重要 浅野 静子 大連市美量町五七番場 アーハ六六番

窓に本邦市場からえを全 品さして舶來品と戰ひ 太郎の巨きな姚織がひそ 四十三歳、性果職にして着質温 これを意識の人で、不然

て選進するこことなったのである 信機のセツト普及時代が必然緩索──ド時代でありラデオ時代である。 氏は、やがて日本ラヂオ界に、愛──―過言でない程に、今日はスピー 然と信ら時流を凝察するに緩なる──雰囲ー時間の短縮即文化さいふ 尺竿頭一歩を進めて、日本ラデオ る態度、民間の會社組織論等の

ラデオの電波に乗って

新文化は満蒙

日本ラデオ輸出協會の誕生

明日の中國家庭生活の輝き

⇔職=時職の総総郎文化さいふ

味に於いて関邦支がにおけるラデ

非常な興味をは、眠められるのでおけるラデオの普及といふこさは

一次であるのさも言へやう、この意 おけるラデオの普及といふことは一ラデオの普及程度は一周交化か樂 文化族、産業的関係にある淅洲に

大量生産で自給自足で製作されて居りますから

今更申上ぐる迄もありません

日本で最初の米國式専門工場で徹底的研究され

用の場合と同等であります

を忘れて斯業經營の方 が表に對する研究心 は火と燃へて日夜寢食 は火と燃へて日夜寢食 あった。共間氏は政府の類案に警衛を機の整造販売を開始したので 際非常なもので、多くの輸入品を 時間・我國ではラデオに默する 管

つゝ今日の社業へのスタート

手数が掛らず、經費も掛らぬ、故障のない

スピード時代のラデオ界の電見

||交流型

自ら別傷にの文字通り駆進的連續である。 今春より現在の市外大井町に歩きり記車町工場より生産規模で 元大井町に宏

蒙市場への進出は耐々幅まつて此 開始さラデオ處女地たる支那、 定し、同地の加入者に推薦、数配 他の群小類似品を歴じて普及しつ 何に全國的な配布線をもち、 一國院第一等」の優秀品さして歌 あるかは、京城放送局が本品を 者に於ける同社新設工場の標準

動財的計議に指手するに至ってる 品職送より支那滿家市場進出への來より一層の強味からてアメリカ 電氣會社で誘惑なる操機を結び從 さ糖俟つて断然斯界のナンパーワ宮水社長の「試験室師市場」主義 顧問の各種要地に出張所を設け、陳に支店、健康、名古屋、慶島、 面から壓倒的 さして君臨せんさ

外品驅逐

ラデオセット工業の

重大なる轉換期

米國式の大量製産時代來らんとす

時代の尖端を行くシン

三共電機工業株式會社々長宮永金太郎氏の抱負

め四球及五球共、各方の四球及五球共、各方 してゐる。 能な妊化の接 ☆易からのみつ は、彫なる期間

のために 日 がでは内地一流の製造 本ラデオ輸出協會」 支融和の楔

・プログラムの如きは今度生れ一等の近年の需要増加が加速度的で 一、ラデオの質用品時代を確信し、特に、現在登録な満洲のラデー産化粧品、白彩、クリーコースー 殿、総和への努力さ た寒代節士が連らした音楽である。 産化粧品、配が、クリーム、 花館

賞読の壁がまき起されることであ 人方面の家庭からもあらしの知き は、今まで春組の壁跡さに悩んで 中継数送されるこさになり配目を 酸々この能識が管理した唯に於て近き附来に一新する等であるが。 より、外務省の協力を得て大連に た日本のラデオ輪用協會の鑑力に

本機出現の趣旨

弊社は左の修理を再三再四熱慮致 本機を市場へ出す迄の動機さして 二、目前い和益を捨て永遠の策を ならわ 樹てればならわ 有力な製作者さして覚醒せれば 0

近代文化の実織が訪れはどめた、

の 変化の微にラチオの電池を共に版 変れる演纂の隅れまでやがて港透 で さ共に!

質が掛り過ぎるといふ質問と違い 五、ラデオ質用化時代に適合する った。これを挑脱せればなられ 最優秀品を大衆向價格で供給せ

たすべく過去二ヶ年除に取り粉來 一般帰取者の増加率の調査、完全 れらの時代的要求な徹底的に充

た観念を挑談せればならわ る髭狐の事業化した受信機製造の鰹幣出た轍行いたし、日本に於け に強りました、然し、

際が起り易いていふ質察を違う 完備せる工場で大量製売はよる大資本の下に 産を行ひ自給自作で解 足な増加率を獲らると 旨による最新最高級の受信機を大 徹底的に管理する噂は重想以上消 機同價格で市場に提供することは に於いて解社は卒気この合理解 つて居ります によるは、監に記れば進さ他の追談と 優秀材料のみな殿関使用し、 機主要部分の材料は何れる

◇臓格なる材料の

撰定

◇厳格極まる製品

の試験

なりません。繁社は常に「試験 で應用科學智能の實驗に基か 連月歩の研究は悉

繁修技術の感覚等々に全力を検注・トップを切つた次節であります

た市場」さ考へ、網織力、 長を他配さ御地蔵になれば、 ーダンス、磁果測定、音量、 ンンガー交流型学信機の振りの に挙げました弊社の方

合命金属製で機械的にはが総置 機能に人非常に密字に出来て べてが親切に出来てゐる 格が絶断体配の追従出

めになると戦闘致して居り

△能率優秀で音風野富に ムハム(交流音)及離音なく 電 り故障かない點

△完全==最新式交流球使用の受信機なれば驚くべき能率

を發揮し故障が殆んごありません

11電油全~不要にて電源は總て電燈より發給され

然かも電氣料は十六燭電球一個(四球受信機)使

△ 竹里 ―子供でも容易に取扱はれ経對危險がありませ

受信機の特長

H

本機の優秀なる理由

研究が積み、不覧の改良進歩を計

上より(一)シンガー交流

◇最新技術の極致

型五球受信機(二)同上(二)三共電機工業 會社研究室(四)同線卷部(五)同仕上部 寫眞說明

**事理で實際解釈顧で棚袋つて常に** ある概究者を顧問又は社覧 - 職じ 東で

(G -

B.B.TYPE MAGNETIC

17日经验

(第三種郵便物認可)

54 4 4 FG FT P

章

大

### 満鮮代表權を握る と京師が

寒風膚を裂く安東グラウンドで

八百三

# ラ式蹴球決勝戰

鞍山中學に

京師大勝

二十一對三

永金池崔大八木尹柳柳鶴石李三朴 基大政 正 惠 志 哲 基大政 正 惠 志 哲 京 師

都のゴール成る CTで願いて左ボスト客でいて左ボスト客を開いて左ボスト客を開たスク

普成専門に

工大大勝

十三樓三

| キックオフで試合は際始されたが | 第一次 | 東京師の駒力物選(廿一野三にて京 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 100

る戦山中學野京城崎範の試合は世

親には勘當され 水上署でお目玉 五千圓チップ事件の

大内きぬ子悄げの卷

流から草くもおれかけられよう佛の顔も三度、テンポの卑い時 

流から早くも高れかけられようさする五千世チップ事件のが総 大内きね子でもほ五百國な総響 大内きね子でもは五百國な総響 がかつたが、またも一日入港の はかつてが、またも一日入港の

で配一かた

事場に至り

ばれてゐまずが、なるべくなら になる事ださ信じます、 内地 い思ひつきさ信じます、 内地 には全經濟的方面から整遍的な コンドルさいふのがときりに喜 いというのがときりに喜

マネル工事 丹那 對 策協議會 隧道の

中で豆様地震の関係に就り間壁の光彩ト 注目を惹く 隧道實情聽取

白八十八名 東京市整理 酸首せん

初陣の満鐵軍

强豪を破り優勝

日本において初めて電送高減機をもあた日本電線會社の野外保衣那で要似土は、屋報の如く我社主鑑の手が保衣那をある。

三十日全滿籃球大會

寸暇を

割さ大連のラデ

ド K を得都ゴールをれらつたが 良く防ぎキックで攻める戦法を はり盛んにロングキックで攻める 戦り盛んにロングキックで攻める でなる。十二分工大普成ゴール前で なった。

· 安福李維鄉趙韓鄉徐李金縣李趙 安福李維鄉趙韓鄉徐李金縣李趙 曹 成

3 警 成

電送寫眞の

丹羽博士來連す

本社ラデオ展で講演のため

ラヂオの家庭化を力説

大連YMCA主催本社後援金流総連YMCA機管主事黒田氏閉會の成ら、 一株・見せ然々を優勝、午後三時二 と、 一大軍にYMCAカップ 本社智館メールを動の滞緩チーム総が総裁れる强ニーをの置品を提集同世分盛會地、大軍にYMCAカップ 本社智館メールを動の滞緩チーム総が総裁れる强ニー、 大軍にYMCAカップ 本社智館メート 大軍にYMCA カップ 本社智館メート 大事に対して、高線チーム及び響天警 カート 大事に対して、高線チーム及び響天警 は、大事のの監に、政・大事の監に、「大事では、」」、「大事では、「大事がないな、「大事では、「大事を、」」、「大事では、「ないま」」」は、「大事では、「大事では、「大事では、「大事では、「からいま」」は、「大事では、「からいきない」」は、「大事では、「ないまり、「ないま」」は、「ないまり、「ないま」」は、「ないま」」」が、「ないまり、「ないま」」」は、「ないまり、「ないま」」」は、「大事では、「ないまり、「ないまり、「ないま」」は、「ないまり、」」は、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、」」」は、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、」」」は、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、」」」は、「ないまり、「ないまり、」」」は、「ないまり、「ないまり、」」は、「ないまり、「ないまり、」」は、「ないまり、「ないまり、「ないまり、「ないまり、」」」は、「ないまり、「ないまり、」」は、「ないまり、」」」は、

明年は 内地で張陽の間に これを利用しやうさしてぬまず やがて大連さの間にも科用され る時が來るでせう、権民地の方 なは色々な意味で非常に悪まれ ないのですからラチオの利用に ないのですからラチオの利用に

勒題「社頭雪」

詠進歌

ついありが

マス七十種ぐらる程記い でのできる始めて縁動し か多いですで微年決つ が多いですで微年決つ

御歌所に到着

檢事局が取調べ

一太博士

駁豆地方震災義捐

て終了人士 左記十名の 高監選手に對し當著學 で、高監試合における の種二人泥棒

ならの二日午後に

べかを古が除宅を記された

不景氣打開策

8

本各地名产

珍

物

70

DO·X號の

大西洋横斷

明春一月決定

不況に依る一般商品の値下げ間 経済・水学園の原化での進を一覧さ 大勉強にて乾客の御引立を顧る値下げの を発達に限り全書園を値下げの虚 大勉強にて乾客の御引立を顧る値下が開 である

のお

し供

餅餅

な丸

ま

18 編 漢

こく五十一野十九にて高緩優)でに開始されたが賢大の奮闘してに開始されたが賢大の奮闘していい。宮畑南・審判に開始をいたが賢大の奮闘

66 2 3

て開催、参加學校は 柔劍道試合

シュークリー

品川童寅(大二中)
幼年組▲濱田要(大 《全日本紀本一等野村公雄 〈 本二等河原武男 〈大二 等二應喜代治〈大商〉

前科三犯の機会は「整徽で料本の工事が行に對しずりで大連署」手に捕の今回の震災による豪芸は比別のでは、大連署」手に捕の今回の震災による豪芸は比別の実施を対し、 る如きトンネルは部が約五千尺行とり、また中央氣象歌雕の黄表でに、また中央氣象歌雕の黄表で 如きトンネル内部が約五千 歌き概本館無難能をなる。 非の公訴事党につき継述も午後一 時業食のため一氏依郷なほ午後更 にで行った 鐵道省三等寢臺車

のと同一配

順(き)と云ひ二十

田通りの小様印刷所に使

原館一かたから野油、

更に二十八日夜は世

海纜下さい婦人俱巡部十二月號 の場合を編人が必識の名記事。 く聴情であるさ説明してゐる。な方心明さなつて唇るさいふ事は全 職業婦人のお給金 「特勢の修正する数据をつるので、「特勢の修正するない。」 間題の主節層突縮に大した 合せ六人が一室さなり 下は一回五十錢である

結果が何は参方面の注目を続いて展出中に黙策協論會を難くがその 術的方針協画の一め既報の如く一 一分の地域(軟鉄西南地七乗島港 ば、同じ 強動機船漂流 三十 無総監信展めて報告によれ際能見(四、三六五順)よ

駿一豆美 捐 托鉢 大町高野山大聖寺信徒有志けで一週間毎夜托鉢を修行して一週間の大聖寺信徒有志けで一週間の大野な遊じ場である。

羅紗

倉厚司 本洋行 枝公荣德 地名TTU

運其花阿狮 送他卉料富

常なセ 喰ホーグ

・上等ロースすきやき 喰ホーダイ 標正宗三本付 浪速町 Leiss Ikon Filmpack ラ食堂の気にないのか 價格



大抵一、一回でなぼります。一日一回よく塗って下さい。一日一回よく塗って下さい。 天天天

展オヂラ 送放別特

ラデオの大勢

に於る

男が何なるセットか以て、こを 無く、世界中に響き渡ります。 このではるセットかいて、 とを

て、世界時に、交換放送の管理、 で、世界時に破いわります。 特楽はいかります。 特楽は

響」を仰せ出されたが、昨今早 収値會始め続越はさきに「社類 での資格を指する。

然るに放送

灣信局放送部長 土屋 柱即

間のこれリン

志二日以前に申込む、これが世太市より東印度へ一分間二磅十

だり、十月廿七日、彼の軍機 にで強放送ならて、日、英 では、非然な戦が、交 では、非然な戦が、交 が掛けられまして、世界の放送 が掛けられまして、世界の放送 が掛けられまして、世界の放送

の威線を

以前に、

着田中大甕市長、民政警部出版和職長、大兵がで三十日午後三時解聴、大兵がで三十日午後三時解聴、大兵がで三十日午後三時解聴、大

本見るものさ、億どられます。 事態問題さして早くも日米電話の下野、野にドイフから機軽能の連が、野にドイフから機軽能の連が放送を日本に味し込んで来て

であります。夫れは、本年一月であります。夫れは、本年一月であります。夫れは、本年一月であります。大れは、本年一月であります。大れは、本年一月であい。 世界に於ける縁取の無機などの場合に、大きの総告に於ける縁取の無機などの場合に、大きの総告になりますが、他程をして、大きのという。 世界が近とになった。 世界があった林和の世界になりますが、他界があっていまった。 世界があった。 世界があった林和の世界があった。 世界があった林和の世界が、世界があった。 世界があった。 世界がある。 世界がようなないまた。 世界がある。 世界がられる。 世界がられる。

大喜びで満期

兵離満す

日埠頭、

見送人で賑ふ

事様に召喚され長谷胎税事の取職長職學探士常一太氏は一日東京総長職學探士常一太氏は一日東京総

行致により間四銭也

水艦ドラクに収容され直に転標工:水艦ドラクに収容され直に転標工のスパークから二十九日火

第四回辯論件

森本国鼻咽喉科医

ビョウ

界各國酒類

食料品

東京風菓子製謹宅

9

一不催告 ール・シー・リックマンブルグ第一五〇號 貫

日名及数量 セリグナイト五 五年十二月二十七日 一五年十二月二十七日 一五年十二月二十七日

隨意

醫學博士 森本辩之

助

電話五三七0

番

大連市大山通三越降り

盗みに入つて酒盛

連店商用白大

祖 0 川卵

根正宗三本付一壹圓廿銭

制チリー人前は六十銭ですン但も三人標以上標正宗三本付・壹回四十銭

其他等、戦、戦、戦の用意がしてありまする人教御宴會の節は特に御相談に癒じます

拾拾



(圖寫福品現)

店

囊物類 電話五四〇九番 銀 中 產振興東京博覽會 毛糸、 たせん石輪間質の優良品にもて使用至って軽便効果種めて 缺くべからざる必需品なり ~ 毛織 優

0

洗濯に

11,58

切



For All Fine Laundering MANCHURIASOAPHFGC9UD

在めや愛 酒家 \$

閣

津辻利ビ 電話四三 tΞ 七八 六七

何使即哲老名会管博名於

# 梅南县全

樽は吉野の甲付樽よ 酒は伏見の高級鉛酒

徳用 叛入 壹 圓(新 發 賣)は二 千 二 百 粒入 徳用 五 十銭 函(五百五十粒)を四 百 粒に増量容器附三十銭 包(百六十五粒)を三百二十粒に増量十 ・銭 包(八 十 粒)を百 五 十粒に増量十 ・銭 用活丹仁

時時時時時時